

令和2年度
教 育 要 項
(シ ラ バ ス)

東北歯科専門学校 歯科技工士科 第1学年

「実務経験のある教員等による授業科目」

【 専 門 基 礎 分 野 】

歯科技工管理学（歯科技工学概論）

口 腔 ・ 顎 顔 面 解 剖 学

口 腔 ・ 顎 顔 面 解 剖 学 実 習

顎 口 腔 機 能 学

歯 科 理 工 学

歯 科 理 工 学 実 習

【 専 門 分 野 】

有 床 義 歯 技 工 学

有 床 義 歯 技 工 学 実 習 基 礎

歯 冠 修 復 技 工 学

歯 冠 修 復 技 工 学 実 習 基 礎

矯 正 歯 科 技 工 学

小 児 歯 科 技 工 学

歯科技工管理学（歯科技工学概論）

時間数	30時間	単位数	2		
担当講師	福井 和徳			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科技工士の仕事の概略を身につけるため歯科医療の基礎を知り、歯科臨床における歯科技工の内容について学習する。				
到達目標	1) 歯科技工士の仕事の概要を述べる。 2) 歯科医療の特異性を説明する。 3) 口腔の構造、歯周組織を説明する。 4) 歯と口腔組織の形態と機能を説明する。 5) 歯科疾患と周囲組織の変化を説明する。 6) 歯科臨床における歯科技工の種類を説明する。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	歯科医療と歯科技工（歯科技工士の仕事：DVD）	講義	2
2	歯科医療と歯科技工（歯式、消化機能）	講義	2
3	歯科医療と歯科技工（全身と口腔との関係）	講義	2
4	歯科技工士とは（歯学の歴史）	講義	2
5	歯科医療と歯科技工（歯科医療の特異性）	講義	2
6	歯科医療と歯科技工（歯周組織）	講義	2
7	中間試験（口腔の構造、歯と歯周組織） 歯科医療と歯科技工、歯科技工士の役割	講義	2
8	顔および口腔組織の形態と機能	講義	2
9	歯科疾患と周囲組織の変化	講義	2
10	歯科臨床と歯科技工①	講義	2
11	歯科臨床と歯科技工②	講義	2
12	歯科技工の管理と運営	講義	2
13	口腔と全身管理	講義	2
14	情報リテラシー、コミュニケーション	講義	2
15	歯科技工士関係法規	講義	2

成績評価 定期試験、講義レポートで評価する。試験は記述式とする。

教科書 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

口腔・顎顔面解剖学

時間数	46時間	単位数	3		
担当講師	宇佐美 晶信、芹川 雅光			実務経験	歯科医師
一般目標	歯の形態や組織発生および頭頸部の構造を理解する。				
到達目標	歯の形態と機能を説明できる。 歯の組織および発生を説明できる。 頭頸部の骨や筋肉を説明できる。 口腔周囲の構造を説明できる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	歯の定義	講義	2
2	歯の外形と内形、歯の種類	講義	2
3	歯の記号と歯式	講義	2
4	切歯	講義	2
5	犬歯、上顎小臼歯	講義	2
6	下顎小臼歯	講義	2
7	上顎大臼歯	講義	2
8	下顎大臼歯	講義	2
9	乳歯の特徴、乳前歯	講義	2

回	授業内容	授業形態	時間
10	乳臼歯、歯の萌出と脱落	講義	2
11	歯の発生、歯の組織 1 エナメル質	講義	2
12	歯の組織 2 象牙質、セメント質	講義	2
13	歯周組織	講義	2
14	歯の異常	講義	2
15	歯列と咬合	講義	2
16	頭蓋の全景	講義	2
17	脳頭蓋骨	講義	2
18	顔面頭蓋骨	講義	2
19	口腔周囲の筋、	講義	2
20	顎関節、頭頸部の神経と脈管	講義	2
21	口腔、口蓋、鼻腔	講義	2
22	唾液腺、咽頭と喉頭	講義	2
23	解剖学まとめ	講義	2

成績評価 定期試験 100%

教科書 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

口腔・顎口腔解剖学実習

時間数	180時間	単位数	4	実務経験		歯科技工士	
担当講師	関根 夏枝						
一般目標	歯の基本的構造と各歯種の形態的特徴について理解し、臨床において必要となる解剖学的知識を習得する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の形態を5方向から観察して展開図としてスケッチできる。 2. 石膏棒を用いて歯を立体的に造形できる。 3. 講義で学習した各歯の解剖学的名称および特徴から、歯種の鑑別ができる。 4. 歯の特徴を理解し、表現できる。 5. 咬合面の副隆線や小窩裂溝などの微細かつ複雑な形態が表現できる。 6. 歯冠と歯根の凹凸の連続性をもって表現できる。 7. 咬頭の面積、近遠心径と頬舌径のバランスがとれる。 8. 歯冠と歯根のバランスがとれる。 9. 一定時間内に彫刻することができる。 10. 彫刻表面を滑沢に表現できる。 						

	授業内容	授業形態	時間
デッサン			
	歯の名称、デッサン法、ノギスでの歯牙模型計測など	実習	8
	上顎左側中切歯	実習	8
	上顎左側犬歯	実習	8
	上顎左側第一小臼歯	実習	8
	上顎左側第一大臼歯	実習	16
	下顎右側中切歯	実習	6
	下顎右側第一小臼歯	実習	8
	下顎右側第二小臼歯	実習	8
	下顎右側第一大臼歯	実習	16
歯型彫刻（石膏）			
	上顎左側中切歯	実習	14
	上顎左側犬歯	実習	8
	上顎左側第一小臼歯	実習	16
	上顎左側第一大臼歯	実習	16
	下顎右側中切歯	実習	8

	授業内容	授業形態	時間
	下顎右側第一小白歯	実習	8
	下顎右側第二小白歯	実習	8
	下顎右側第一大臼歯	実習	16

成績評価 ・製作物の評価 ・受講態度 ・定期試験

教科書 ・最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
・本校実習用テキスト

参考図書 ・歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻 歯科技工学実習トレーニング
／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）
・第2版 最新歯型彫刻－理論と実際－／尾花甚一 編著（医歯薬出版）

顎口腔機能学

時間数	16時間	単位数	1		
担当講師	清野 晃孝			実務経験	歯科医師
一般目標	社会のニーズに対応する歯科技工士になるために、顎口腔系の基本構造と機能および下顎運動と上下歯列の位置関係を理解する。				
到達目標	顎関節の構造と機能を説明できる。 口腔と口蓋の構造を説明できる。 下顎位、下顎運動について説明できる。 咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。 咬合検査と顎機能障害を説明できる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	顎口腔系の機能	講義	2
2	顎口腔系の形態	講義	2
3	下顎運動	講義	2
4	歯の接触様式	講義	2
5	咬合器	講義	2
6	咬合検査	講義	2
7	顎機能障害	講義	2
8	まとめ	講義	2

成績評価 定期試験において65点以上を合格とする。

教科書 最新歯科技工士教本 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

歯科理工学

時間数	46時間	単位数	3		
担当講師	岡田 英俊、石田 喜紀、大木 達也、齋藤 龍一			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科材料の特性と使用法を理解する。				
到達目標	(1) 歯科修復物を構成する材料を説明できる。 (2) 成形加工に関する理論と使用する機械を説明できる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	歯科材料の概要	講義	2
2	歯科材料の物理的性質	講義	2
3	歯科用模型材	講義	2
4	印象材(1)特性	講義	2
5	印象材(2)操作方法	講義	2
6	歯科用ワックス	講義	2
7	床用材料(1)種類と成分	講義	2
8	床用材料(2)特性と操作方法	講義	2
9	鋳造用埋没材	講義	2

回	授業内容	授業形態	時間
10	歯科精密鑄造(1)基礎理論	講義	2
11	歯科精密鑄造(2)工程と使用する機械	講義	2
12	歯科精密鑄造(3)埋没法と鑄造法	講義	2
13	歯科精密鑄造(4)鑄造欠陥の原因と対策	講義	2
14	歯冠用材料(1)歯科用セラミックスの性質と臨床応用	講義	2
15	歯冠用材料(2)陶材焼付鑄造冠の特性と作製方法	講義	2
16	歯冠用材料(3)オールセラミックス冠の特性と作製方法	講義	2
17	歯冠用材料(4)硬質レジンの特性と歯冠部への応用	講義	2
18	歯科用金属(1)貴金属合金の特性	講義	2
19	歯科用金属(2)非貴金属合金の特性	講義	2
20	歯科用金属(3)金属の加工硬化、熱処理	講義	2
21	歯科用金属(4)金属の接合	講義	2
22	歯科材料の研磨	講義	2
23	デジタル機器の歯科応用	講義	2

成績評価 定期試験で評価する。

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

・配布資料

参考図書 なし

歯科理工学実習

時間数	180時間	単位数	4	実務経験	
担当講師	熊田 恭夫、関根 夏枝、松本 俊哉		実務経験	歯科技工士	
一般目標	1. 各種歯科材料や機械器具を適正に選択、成形加工に使用し、安全管理できるように必要な知識と技術を身につける。 2. 数量的な概念、直感的な観察力を養い、自然科学への興味を深める。				
到達目標	下記の知識、技術を習得する。 ・歯科技工用機械器具を正しく操作し安全管理できる。 ・試験片を作製し、理工学的試験を実施、測定値を記録する。 ・石膏、印象材を正確に操作できる。 ・ワックス、金属を適温に溶解できる。 ・加熱重合樹脂を重合成形できる。 ・試験により得られた測定値を統計処理できる。 ・実験結果のまとめ、講義内容と関連づけて考察ができる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	石こう (1) ゴム枠流し	実習	6
2	石こう (2) 硬化膨張	実習	6
3	石こう (3) 硬さ	実習	6
4	印象材 (1) 印象精度	実習	6
5	印象材 (2) 寸法精度・模型粗さ	実習	6
6	ワックス (1) 変形	実習	6
7	ワックス (2) フロー	実習	6
8	床用レジン (1) 重合制度	実習	6
9	床用レジン (2) 寸法変化量	実習	6
10	床用レジン (3) 寸法変化量	実習	6
11	床用レジン (4) たわみ強さ、計測	実習	6
12	埋没材 (1) 硬化膨張 (埋没材)	実習	6
13	埋没材 (2) 硬化膨張 (耐火模型材)	実習	6
14	鑄造 (1) 鑄造精度・混水比 (網)	実習	6
15	鑄造 (2) 鑄造精度・混水比 (冠)	実習	6

回	授業内容	授業形態	時間
16	鑄造 (3) 鑄造精度・鑄型温度	実習	6
17	鑄造 (4) 鑄造制度・ライナー枚数	実習	6
18	鑄造 (5) 計測	実習	6
19	ポーセレン (1) 焼成収縮	実習	6
20	ポーセレン (2) 焼成収縮、硬質レジン (1) 硬さ	実習	6
21	硬質レジン (2) たわみ、曲げ強さ	実習	6
22	熱処理 (1) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
23	熱処理 (2) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
24	熱処理 (3) 硬化・軟化处理・加工硬化	実習	6
25	鑲付け (1) 埋没鑲付け	実習	6
26	鑲付け (2) 埋没鑲付け	実習	6
27	鑲付け (3) 自在鑲付け	実習	6
28	CAD/CAM	実習	6
29	CAD/CAM	実習	6
30	CAD/CAM	実習	6

成績評価

教科書 ・最新歯科技工士教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

・配布資料

参考図書 ・第4版 歯科理工学実習／金竹哲也 監修（医歯薬出版）

・スタンダード歯科理工学－生体材料と歯科材料－ 第4版／編集幹事 鈴木一臣（学建書院）

有床義歯技工学

時間数	46時間	単位数	3	実務経験		歯科医師	
担当講師	和田 裕一、松本 知生						
一般目標	全部または部分欠損患者の健康を維持・増進させるために、有床義歯の臨床的意義を理解し、義歯製作・装着するための理論を習得する。						
到達目標	1) 有床義歯技工学の概要を理解する 2) 生体についての基礎知識を理解する 3) 有床義歯の特性を理解する 3) 有床義歯の製作順序を理解する 4) 部分床義歯の構成要素を理解する 5) 有床義歯の印象採得に伴う技工作業を理解する 6) 有床義歯の咬合採得に伴う技工作業を理解する 7) クラスプの製作について理解する 8) バーの製作について理解する 9) 有床義歯の人工歯排列と歯肉形成を理解する 10) 有床義歯の埋没と重合を理解する 11) 有床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨を理解する 12) 有床義歯の修理について理解する 13) リベース・リラインについて理解する 14) オーバーデンチャーについて理解する 15) 金属床義歯について理解する 16) その他の有床義歯について理解する						

回	授業内容	授業形態	時間
1	有床義歯技工学概説	講義	2
2	有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 ～審美的基礎知識	講義	2
3	有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 下顎位～	講義	2
4	全部床義歯の特性	講義	2
5	全部床義歯の製作順序、	講義	2
6	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	講義	2
7	全部床義歯の人工歯排列	講義	2

回	授業内容	授業形態	時間
8	全部床義歯の歯肉形成	講義	2
9	全部床義歯の埋没と重合	講義	2
10	全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	講義	2
11	部分床義歯の特性	講義	2
12	部分床義歯の製作順序	講義	2
13	部分床義歯の構成要素 クラスプ	講義	2
14	部分床義歯の構成要素 レスト、アタッチメント、補助支台装置、テレスコープ	講義	2
15	部分床義歯の構成要素 連結子、義歯床	講義	2
16	部分床義歯の印象採得に伴う技工作業	講義	2
17	部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業①	講義	2
18	部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業②	講義	2
19	バー ～部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成	講義	2
20	部分床義歯の埋没と重合	講義	2
21	修理、リベースおよびリライン	講義	2
22	オーバーデンチャー、金属床義歯	講義	2
23	ノンクラスプデンチャー	講義	2

成績評価 ・小テスト 30% ・期末テスト 70%

教科書 ・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

・配布資料

参考図書

有床義歯技工学実習基礎

時間数	316時間	単位数	7	実務経験		歯科技工士	
担当講師	熊田 恭夫、松本 俊哉						
一般目標	全部床義歯と部分床義歯の知識、製作手順および技工技術を理解し、技能を習得する。 歯科技工に必要な材料、器具、製作方法を理解し、技能を習得する。						
到達目標	<p>1. 全部床義歯</p> <p>(1) 個人トレーの製作</p> <ul style="list-style-type: none"> 床外形線と個人トレー外形線の記入ができる。 リリースとブロックアウトを行い、トレー材料の圧接、形態修正、研磨ができる。 <p>(2) 咬合床の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業模型に基準線および咬合床の外形線の記入ができる。 咬合堤を標準的な位置に設定し、ワックス内部に気泡を入れずに完成できる。 <p>(3) 咬合器装着</p> <ul style="list-style-type: none"> 模型基底面にスプリットキャストを付与し、咬合平面板を用いた装着ができる。 <p>(4) 人工歯排列と歯肉形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 前歯部は審美性および発音機能、臼歯部は咀嚼機能を重視した人工歯の排列ができる。 唇・頬側部、口蓋部、舌側部の歯肉形成を施したロウ義歯が完成できる。 <p>(5) 義歯の完成（埋没と重合）</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋没の前準備を行い、一次、二次埋没ができる。 義歯床用レジン（加熱重合レジン）の餅状期を理解し、填入操作ができる。 咬合器への再装着ならびに咬頭嵌合位と前・側方運動における人工歯の選択削合ができる。 自動削合を行い、人工歯の形態修正ができる。 実習書に記載された注意事項を守り、仕上げ研磨まで行うことができる。 <p>2. 維持装置・部分床義歯</p> <p>(1) 個人トレーの製作</p> <ul style="list-style-type: none"> サベイングを行い、義歯床と個人トレー外形線を記入できる。 リリースとブロックアウトを行い、トレー材料の圧接、形態修正、研磨ができる。 <p>(2) 咬合床の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業模型に基準線および咬合床の外形線の記入ができる。 咬合堤を標準的な位置に設定し、ワックス内部に気泡を入れずに完成できる。 <p>(3) 維持装置および連結子の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> サベイングを行い、着脱方向の決定、等高点およびサベイラインの描記ができる。 クラスプおよびバーの外形線が記入できる。 						

<ul style="list-style-type: none"> ・クラスプ用金属線、屈曲バーの屈曲操作ができる。 (4) 人工歯排列と歯肉形成 <ul style="list-style-type: none"> ・前歯部は審美性および発音機能、臼歯部は咀嚼機能を重視し、残存歯と調和した人工歯の排列ができる。 ・咬頭嵌合位と前・側方運動で人工歯を選択削合し、残存歯に調和した咬合関係を構築することができる。 ・残存歯と調和した審美性および機能を考慮した歯肉形成ができる。 (5) 義歯の完成（埋没と重合） <ul style="list-style-type: none"> ・ロウ義歯の埋没前準備を行い、レジン填入操作から仕上げ研磨までできる。 <p>※全課題の共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技工操作に適した材料、器具を使用することができる。 ・サベイヤーとその付属品を使用できる。 ・サベイング、床外形線とトレー外形線の記入ができる。 ・リリースとブロックアウトができる。 ・耐火模型の製作ができる。 ・ワックスアップができる。 ・スプルーの植立ができる。 ・埋没、加熱乾燥、鋳造ができる。 ・メタルフレーム細部の研磨ができる。
--

	授業内容	授業形態	時間
全部床義歯			
	実習の概要	講義・実習	4
	全部床義歯の製作過程	実習	4
	個人トレー製作	実習	30
	咬合床製作	実習	24
	咬合器装着	実習	4
	上顎歯列排列	実習	8
	下顎歯列排列	実習	8
	歯肉形成	実習	16
	埋没、流蠟	実習	6
	レジン填入、重合	実習	4
	割り出し、荒研磨	実習	4
	咬合器再装着、咬合調整	実習	16
	研磨、完成	実習	16
維持装置（線鉤）			
	模型製作	実習	2
	サベイング、鉤外形線記入、ブロックアウト	実習	10
	ワイヤーベンディング 1（単純鉤）	実習	10
	ワイヤーベンディング 2（二腕鉤）	実習	10
	ワイヤーベンディング 3（レスト付二腕鉤小白歯）	実習	8
	ワイヤーベンディング 4（レスト付二腕鉤大白歯）	実習	8
	ワイヤーベンディング 5（レスト付二腕鉤ろう着鉤）	実習	8
	パラタルバーベンディング、研磨、完成	実習	8
維持装置（鋳造鉤）			
	上下顎模型製作	実習	2
	サベイング、鉤外形線記入	実習	4
	ワックス形成 1（双歯鉤）	実習	4
	ワックス形成 2（分割腕鉤）	実習	4
	ワックス形成 3（バックアクションクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 4（リングクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 5（リバースバックアクションクラスプ）	実習	4
	ワックス形成 6（延長腕鉤）	実習	4

	授業内容	授業形態	時間
	ワックス形成 7 (リングルバー)	実習	4
	レスト付二腕鉤 鑄造まで	実習	8
部分床義歯			
	個人トレー製作	実習	2
	部分床義歯 模型製作、模型調整	実習	2
	サベイング、義歯の設計、ブロックアウト	実習	2
	ワイヤーベンディング 1 (単純鉤 2 本)	実習	4
	ワイヤーベンディング 2 (レスト付二腕鉤 4 本)	実習	8
	鑄造鉤の製作 (レスト付二腕鉤 2 本)	実習	8
	補強線の屈曲 (保持 2 本)	実習	4
	リングルバーベンディング	実習	4
	咬合床製作	実習	6
	咬合器装着	実習	2
	人工歯排列	実習	8
	歯肉形成	実習	4
	埋没、流蠟、レジン填入、レジン重合	実習	4
	レジン床の割り出し、荒研磨	実習	4
	研磨、完成	実習	4

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書 ・ 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)

・ 配布資料

参考図書

・ 有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編 (医歯薬出版)

歯冠修復技工学〈保存学〉

時間数	10 (46) 時間	単位数	(3)		
担当講師	山田 嘉重、菊井 徹哉		実務経験	歯科医師	
一般目標	保存修復学で行う処置法と使用材料を説明することができる。				
到達目標	各種インレーなどの内側性歯冠修復の窩洞形態や使用切削器具を理解できる。 内側性歯冠修復法で使用する材料の種類と適応症を説明することができる。 内側性歯冠修復法で使用する合着・接着材料の種類と特性を説明することができる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	保存修復学の概要とう蝕について	講義	2
2	う蝕除去後の窩洞形態と切削器具	講義	2
3	歯冠修復法の種類と直接歯冠修復法 (窩洞の特徴と修復材料の種類)	講義	2
4	間接歯冠修復法 I (メタルインレー、メタルアンレー等金属修復物)	講義	2
5	間接歯冠修復法 II (レジニンインレー、セラミックインレー、ベニア)	講義	2

成績評価

第 1 回から第 5 回までの内容について定期試験を行い、その結果を 80% とする。出席点を 20% とする。成績の合計が 60% (60 点) 以上を合格とする。

教科書 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)

参考図書

- ① 保存修復学第 6 版 (医歯薬出版. 2015)
- ② 保存修復学 21 第 5 版 (永末書店. 2017)
- ③ 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患、保存修復・歯内療法
／全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版 2018)

歯冠修復技工学

時間数	36 (46) 時間	単位数	(3)		
担当講師	雨宮 幹樹			実務経験	歯科医師
一般目標	歯冠修復物、クラウン、ブリッジの製作に関する知識を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 歯冠修復技工学の意義と目的を説明できる。 2) クラウンの種類および特徴を説明できる。 3) ブリッジの種類および特徴を説明できる。 4) クラウンとブリッジの具備要件を説明できる。 5) 臨床の流れと技工作業の流れを説明できる。 6) 支台築造の意義と方法を説明できる。 7) 作業用模型の構成と種類および製作方法を説明できる。 8) 埋没・鋳造作業の方法を説明できる。 9) 研磨の意義・方法を説明できる。 10) 部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。 11) 全部被覆冠の種類・特徴と製作法を説明できる。 12) インプラント修復について説明できる。 13) CAD/CAM システムについて説明できる。 				

回	授業内容	授業形態	時間
1	歯冠修復技工学の概要、クラウンブリッジの治療の流れ	講義	2
2	クラウンの概要と種類	講義	2
3	ブリッジの概要と種類	講義	2
4	クラウンとブリッジの具備要件①	講義	2
5	クラウンとブリッジの具備要件② クラウンとブリッジの製作① (臨床ステップの概要)	講義	2
6	クラウンとブリッジの製作② (印象採得、研究用模型、印象用トレー)	講義	2
7	クラウンとブリッジの製作③ (支台築造、テンポラリークラウン・ブリッジ)	講義	2
8	クラウンとブリッジの製作④ (色調選択、作業用模型、咬合器への装着)	講義	2
9	クラウンとブリッジの製作⑤ (クラウンに与える咬合、ワックスアップ)	講義	2
10	クラウンとブリッジの製作⑥ (埋没、鋳造作業、連結法)	講義	2
11	クラウンとブリッジの製作⑦ (調整、研磨～試適・仮着・合着)	講義	2
12	クラウンとブリッジの製作⑧ (レジン前装～陶材の築盛・焼成、クラウンの不具合の原因)	講義	2
13	歯冠修復物と部分被覆冠	講義	2
14	全部被覆冠	講義	2
15	ブリッジ	講義	2
16	インプラント	講義	2
17	CAD/CAM システム	講義	2
18	歯冠修復技工学のまとめ	講義	2

成績評価 定期試験ならびに追加適宜試験で評価する。

教科書 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)

参考図書

- ・クラウンブリッジ補綴学 第5版／矢谷博文 他 編 (医歯薬出版) 2016.
- ・クラウンブリッジテクニック 第2版／三浦宏之 他 編 (医歯薬出版) 2018.

歯冠修復技工学実習基礎

時間数	316時間	単位数	7		
担当講師	松本 俊哉、関根 夏枝			実務経験	歯科技工士
一般目標	インレー、クラウン、ブリッジの製作順序を理解し、技術を習得する。				
到達目標	①インレー、クラウン、ブリッジを製作できる。 ②各実習に必要な器材の取り扱い方を理解し使用できる。				

	授業内容	授業形態	時間
	インレー、アンレー、メタルコア (全7本) ワックスアップ	実習	30
	埋没、鋳造	実習	8
		研磨、完成	16
	クラウン (上顎大白歯) ワックスアップ	実習	24
	埋没、鋳造	実習	16
		咬合調整、研磨、完成	18
	クラウン (下顎大白歯) 模型製作、咬合器装着	実習	8
	ワックスアップ	実習	8
	埋没、鋳造	実習	8
		咬合調整、研磨、完成	8
	前装ブリッジ (上顎臼歯部) 模型製作、咬合器装着	実習	8
	ワックスアップ (支台歯)	実習	32
	ワックスアップ (ポンティック)	実習	24
	前装部、ポンティック部窓開け	実習	8
	埋没、鋳造	実習	8
		前装部、ポンティック部レジン築盛	24
	形態修正、咬合調整	実習	10
		研磨、完成	16
	テンポラリークラウン	実習	16
	競作展課題製作	実習	26

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 (医歯薬出版)
- ・歯冠修復技工 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編 (医歯薬出版)

参考図書

矯正歯科技工学

時間数	16時間	単位数	1		
担当講師	竜 立雄			実務経験	歯科医師
一般目標	矯正歯科治療に係わる総論および診断学、治療学を理解し、歯科矯正学の意義、正常咬合と不正咬合の基礎を知り、矯正歯科治療における生体反応、矯正力と固定、材料と器械・器具、不正咬合の治療に用いる矯正装置および技工について学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 矯正歯科治療の意義と目的を説明できる。 2) 矯正歯科における正常咬合と不正咬合を説明できる。 3) 矯正歯科技工に用いる器械・器具と材料を列挙し、それらの特徴を説明できる。 4) 矯正歯科技工における基本的手技を説明できる。 5) 矯正用口腔模型の種類と特徴を説明できる。 6) 矯正装置の必要条件と分類を説明できる。 7) 各種の動的矯正装置の目的と構成を理解し、主な装置の製作法を説明できる。 8) 各種の保定装置の目的と構成を理解し、主な装置の製作法を説明できる。 				

回	授業内容	授業形態	時間
1	矯正歯科治療とは	講義	2
2	矯正歯科治療の進め方	講義	2
3	矯正歯科基本手技、模型について	講義	2
4	矯正装置の必要条件と分類 矯正装置の製作法	講義	2
5	器械的矯正装置の製作、説明	講義	2
6	機能的矯正装置についての説明	講義	2
7	矯正装置の製作法	講義	2
8	保定装置	講義	2

成績評価 定期試験 100%

教科書 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

小児歯科技工学

時間数	16時間	単位数	1		
担当講師	加川 千鶴世、神庭 優衣		実務経験	歯科医師	
一般目標	小児歯科治療における技工の意義、目的および小児の成長発育を理解する。				
到達目標	①小児歯科治療の種類、特徴を理解する ②小児歯科治療における小児歯科技工の目的を説明できる ③小児の成長発育を説明できる				

回	授業内容	授業形態	時間
1	概説、歯・顎・顔面の成長発育	講義	2
2	歯・顎・顔面の成長発育	講義	2
3	小児の歯冠修復	講義	2
4	咬合誘導装置の種類、保隙装置	講義	2
5	咬合誘導装置の種類、保隙装置	講義	2
6	保隙装置、スペースリテーナー	講義	2
7	口腔習癖除去装置、咬合誘導に用いる維持装置	講義	2
8	まとめ	講義	2

成績評価 定期試験により判定

教科書 最新歯科技工士教本 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 小児歯科技工学

令和2年度
教 育 要 項
(シ ラ バ ス)

東北歯科専門学校 歯科技工士科 第2学年

「実務経験のある教員等による授業科目」

【 専 門 基 礎 分 野 】

歯科技工管理学（関係法規）

顎 口 腔 機 能 学 実 習

【 専 門 分 野 】

有床義歯技工学実習応用

歯冠修復技工学実習応用

矯正歯科技工学実習

小児歯科技工学実習

歯 科 技 工 実 習

歯科技工管理学〈関係法規〉

時間数	16時間	単位数	1		
担当講師	廣瀬 公治			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科技工士として業務に従事するのに必要な法令を修得する。				
到達目標	1) 法律の概要を説明できる。 2) 我が国の衛生行政機構を概説できる。 3) 歯科技工士の役割を説明できる。 4) 歯科技工士法を説明できる。 5) 歯科医師法・歯科衛生士法を概説できる。 6) 医療関係法令を概説できる。 7) 医療関連職種の業務の概要を説明できる。				

回	授業内容	授業形態	時間
1	法政概論	講義	2
2	衛生行政	講義	2
3	歯科技工士法 (1)総則、免許	講義	2
4	歯科技工士法 (2)試験、業務	講義	2
5	歯科技工士法 (3)歯科技工所、罰則	講義	2
6	歯科医師法、歯科衛生士法	講義	2
7	医療関連法令	講義	2
8	医療関連職種の業務、社会保険	講義	2

成績評価 定期試験 100%

教科書 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

顎口腔機能学 実習

時間数	46時間	単位数	1		
担当講師	松本 俊哉			実務経験	歯科技工士
一般目標	研究用模型を製作し、フェイスボウレコードを採得することにより、頭蓋の基準平面とフェイスボウの関係を学び、半調整性咬合器にフェイスボウトランスファーを行うことで下顎運動理論と咬合器の基礎的操作技術を習得しかつ理解する。				
到達目標	1. 研究用模型の製作ができる。 2. フェイスボウレコードを理解し半調節性咬合器に上顎模型をフェイスボウトランスファーができる。 3. 各チェックバイトを用いて半調節性咬合器の調節（矢状顎路傾斜角）ができる。 4. 咬合診断し咬合様式を説明できる。 5. 半調節性咬合器を操作し下顎運動に調和した大臼歯部咬合面のワックスアップができる。				

	授業内容	授業形態	時間
	半調節性咬合器の機能と使用方法	実習	4
	フェイスボウトランスファー	実習	8
	上顎模型の装着	実習	6
	下顎模型の装着	実習	4
	チェックバイト法による顎路調節	実習	6
	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 1	実習	8
	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 2	実習	8
	機能的咬合面形成法によるワックスアップ 3	実習	2

成績評価 ・製作物の評価 ・受講態度 ・定期試験

教科書 最新歯科技工士教本 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

参考図書 なし

有床義歯技工学実習応用

時間数	136時間	単位数	3		
担当講師	熊田 恭夫、松本 俊哉			実務経験	歯科技工士
一般目標	1年次に修得した知識と技術を基に、手技の「速さ」と「正確さ」および「応用力」を身につける。 歯科技工士に相応しい思考と技能を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各課題を自己の知識と技能で完成できる。 各課題の指示を理解し、製作することができる。 製作課題を期限内に完成できる。 実習内容について、自主的に学習できる。 機材の特性や取り扱い方法を理解し、応用できる。 				

	授業内容	授業形態	時間
全部床義歯			
	全部床義歯3床（パラジェットシステム上下顎、アクロンMC上顎）の製作について	講義・実習	2
	咬合床製作（上顎2床、下顎1床）	実習	10
	パラジェットシステム床 咬合器装着	実習	4
	人工歯排列、歯肉形成	実習	16
	埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	8
	割り出し、荒研磨	実習	4
	授業内容	授業形態	時間
	咬合器再装着、咬合調整、完成	実習	4
	アクロンMC床 人工歯排列（下顎パラジェットシステム床使用）	実習	4
	歯肉形成、埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	12
	割り出し、荒研磨、咬合器再装着、咬合調整	実習	8
	研磨、完成	実習	16
部分床義歯			
	咬合床、作業模型の製作、咬合器装着、ブロックアウト、リリース	実習	6
	維持装置製作（屈曲鉤、铸造鉤）	実習	26
	人工歯排列、歯肉形成	実習	6
	埋没、流蠟、レジン填入、重合	実習	6
	授業内容	授業形態	時間
	研磨、完成	実習	4

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書

- 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
- 有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）
- 配布資料

参考図書

歯冠修復技工学実習応用

時間数	136時間	単位数	3		
担当講師	関根 夏枝			実務経験	歯科技工士
一般目標	硬質レジン前装冠の技工操作を習得する。				
到達目標	硬質レジン前装冠の目的と製作順序が説明できる。 製作に使用する材料や器材の取り扱い方を理解し使用できる。 支台築造及び暫間被覆冠の製作ができる。				

	授業内容	授業形態	時間
	硬質レジン前装冠（上顎前歯単冠） 模型製作	実習	16
	ワックスアップ、埋没	実習	16
	鋳造、研磨	実習	16
	レジン築盛、形態修正	実習	16
	研磨、完成	実習	8
	硬質レジン前装冠（上顎前歯単冠セミナー用） 模型製作	実習	8
	ワックスアップ、埋没	実習	8
	鋳造、研磨	実習	8
	レジン築盛、形態修正、研磨、完成（外部セミナー）	実習	8
	メタルコア	実習	16
	テンポラリークラウン	実習	16

成績評価 ・ 製作物の評価 ・ 受講態度 ・ 定期試験

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）
- ・歯冠修復技工 歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）

参考図書

矯正歯科技工学実習

時間数	46時間	単位数	1		
担当講師	松本 俊哉			実務経験	歯科技工士
一般目標	矯正装置の目的・特徴、および各装置に使用する材料・製作法について理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各装置の種類と目的を理解し、課題の装置を製作できる。 ・矯正装置の製作に用いられる器具の名称と使い方を理解できる。 				

	授業内容	授業形態	時間
1	ワイヤー屈曲、鑲着の基本手技 1	実習	6
2	ワイヤー屈曲、鑲着の基本手技 2	実習	4
3	ワイヤー屈曲、鑲着の基本手技 3	実習	4
4	舌側弧線装置 模型製作、屈曲	実習	8
5	舌側弧線装置 床形成、研磨	実習	8
6	ホーレーの保定装置 模型製作、屈曲	実習	8
7	ホーレーの保定装置 床形成、研磨	実習	8

成績評価 製作物の評価、授業態度を総合的に評価する。

教科書 ・最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編（医歯薬出版）

- ・本校実習テキスト

参考図書 なし

小児歯科技工学実習

時間数	46時間	単位数	1		
担当講師	松本 俊哉			実務経験	歯科技工士
一般目標	乳歯の形態的特徴を理解し、各保隙装置の役割と製作法を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯の形態的特徴を捉え、歯型彫刻できる。 ・各保隙装置の目的や製作方法を理解し、課題の装置を製作できる 				

	授業内容	授業形態	時間
1	乳歯ワックス歯型彫刻（4歯） 上顎2歯	実習	8
2	乳歯ワックス歯型彫刻（4歯） 下顎2歯	実習	8
3	可撤保隙装置 模型製作、維持装置屈曲	実習	8
4	可撤保隙装置 人工歯排列、床形成、研磨	実習	8
5	クラウンループ保隙装置 模型製作、ループ屈曲	実習	6
6	クラウンループ保隙装置 ロー着、研磨	実習	8

成績評価 製作物の評価、授業態度を総合的に評価する。

教科書 ・最新歯科技工士教本 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会（医歯薬出版）

・配布資料

参考図書

矯正・小児 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編（医歯薬出版）

歯科技工実習

時間数	496時間	単位数	11		
担当講師	福井 和徳		実務経験	歯科医師	
	熊田 恭夫、関根 夏枝、松本 俊哉、他			歯科技工士	
一般目標	基礎実習で習得した技術の応用力を高める。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎実習を応用し、様々な症例に対応できる力を身につける。 ・高度な技工技術を習得する。 ・作業の効率化を図り、完成までの作業時間を早くする。 				

	授業内容	授業形態	時間
	平行模型製作 印象採得、模型製作	実習	4
	〃 歯列調整、バイト、台付け	実習	4
	〃 顔面・口腔内写真撮影、トリミング、模型計測	実習	4
	予測模型製作 セットアップ（印象・分割）	実習	4
	〃 セットアップ（排列） 完成	実習	4
	部分床義歯（金属床）製作 ノンプレシヤス金属床模型製作	実習	4
	〃 咬合床製作、咬合器装着、耐火模型製作	実習	14
	〃 ワックスアップ	実習	8
	〃 埋没、鋳造、割り出し、金属床研磨	実習	16
	〃 人工歯排列、歯肉形成	実習	16
	〃 埋没、流蠟、研磨、完成	実習	16
	スポーツマウスガード製作 印象採得、模型製作	実習	4
	〃 模型トリミング、マウスガードシート成型	実習	4
	〃 シート切り出し、外形修正、外形研磨	実習	4
	〃 咬合器装着、咬合調整、完成	実習	4
	臨床的模型技工物製作 有床義歯	実習	40
	〃 歯冠修復	実習	40
	ポーセレン単冠製作（YAMAKIN or 松風セミナー含む）	講義・実習	50
	競作展課題製作（全部床義歯、部分床義歯、架工義歯）	実習	136
	模擬試験実習・定期試験実習用模型製作、その他	実習	120

成績評価 ・製作物の評価 ・受講態度

教科書 ・配布資料

参考図書

令和2年度
教 育 要 項
(シ ラ バ ス)

東北歯科専門学校 歯科衛生士科 第1学年

「実務経験のある教員等による授業科目」

【 専 門 基 礎 分 野 】

解 剖 学
生 理 学
生 化 学
口 腔 解 剖 学
組 織 発 生 学
口 腔 生 理 学
口 腔 生 化 学
病 理 学 ・ 口 腔 病 理 学
薬 理 学 ・ 歯 科 薬 理 学
微 生 物 学 ・ 口 腔 微 生 物 学
口 腔 衛 生 学
衛 生 ・ 公 衆 衛 生 学

【 専 門 分 野 】

歯 科 衛 生 士 概 論
医 療 倫 理 学
歯 科 臨 床 概 論
う 蝕 ・ 歯 周 予 防 処 置 法 I
歯 科 保 健 指 導 法 I
歯 科 診 療 補 助 法 I
歯 科 材 料 学
感 染 予 防 学

解剖学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	宇佐美晶信、芹川 雅光			実務経験	歯科医師
一般目標	人体の構造を理解する。特に口腔領域は十分に構造を把握して、その構造が機能とどのように結びつくかを理解する。				
成績評価	前期と後期の定期試験の結果と、授業中に行う小テストの結果を合わせて 6 割以上の成績の者を合格と判定する。				
教科書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	解剖学総論、骨学総論	講 義	2
2	全身の骨格	講 義	2
3	頭蓋骨	講 義	2
4	筋学総論、骨の小テストと解説	講 義	2
5	頭頸部の筋	講 義	2
6	脈管学総論、全身の脈管	講 義	2
7	頭頸部の脈管	講 義	2
8	内臓学、頭頸部の筋の小テストと解説	講 義	2
9	感覚器 1 (嗅覚器、味覚、視覚器)	講 義	2
10	感覚器 2 (平衡聴覚器)、呼吸器	講 義	2
11	口腔の構造	講 義	2
12	唾液腺 1、頭頸部の脈管学の小テストと解説	講 義	2
13	唾液腺 2、舌 1	講 義	2
14	舌 2、泌尿生殖器	講 義	2
15	内分泌器、口腔の構造、唾液腺、舌の小テストと解説	講 義	2

生理学

時間数	16 時間	単位数	1 単位		
担当者	川合 宏仁、大須賀謙二、古山 昭			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科衛生士として必要となる正常な体の仕組みを理解し、把握させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験 (90%) 出席 (10%)				
教科書	医歯薬出版株式会社 人体の構造と機能				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	生理学とは 循環・呼吸	講 義	2
2	筋と運動	講 義	2
3	神経系 感覚	講 義	2
4	消化・吸収	講 義	2
5	排泄	講 義	2
6	体温	講 義	2
7	内分泌	講 義	2
8	生殖	講 義	2

生化学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	前田 豊信、鈴木 厚子			実務経験	歯科医師
一般目標	(1)栄養素の消化・吸収・代謝およびその調節を理解する。				
成績評価	適宜行う小テストの結果により形成的評価を行い、前期・後期の定期試験の成績により総合的評価を行う。60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 医歯薬出版				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	生体の構成要素 1	講 義	2
2	生体の構成要素 2	講 義	2
3	生体における化学反応 1	講 義	2
4	生体における化学反応 2	講 義	2
5	糖質と脂質の代謝 1	講 義	2
6	糖質と脂質の代謝 2	講 義	2
7	糖質と脂質の代謝 3	講 義	2
8	タンパク質とアミノ酸の代謝 1	講 義	2
9	タンパク質とアミノ酸の代謝 2	講 義	2
10	生体における恒常性の維持	講 義	2
11	歯と歯周組織の生化学 1	講 義	2
12	歯と歯周組織の生化学 2	講 義	2
13	硬組織の生化学 1	講 義	2
14	硬組織の生化学 2	講 義	2
15	硬組織の生化学 3	講 義	2

口腔解剖学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	宇佐美晶信、芹川 雅光			実務経験	歯科医師
一般目標	口腔内に存在する各歯牙の形態と機能、及び歯牙により構成される歯列、咬合についてもその形態と機能を理解する。				
成績評価	筆記試験				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯の総論 (1) 歯の起源、歯の基本形態、歯式、歯列弓と方向用語	講 義	2
2	歯の総論 (2) 歯の各部の名称、乳歯と永久歯の関係	講 義	2
3	歯の総論まとめ、上下顎切歯	講 義	2
4	上・下顎犬歯	講 義	2
5	上顎第 1、第 2 小臼歯 第 1 小臼歯の特異点、第 1 と第 2 小臼歯の比較	講 義	2
6	下顎第 1、第 2 小臼歯 第 1、第 2 小臼歯の比較、上下顎小臼歯の比較	講 義	2
7	上顎大臼歯 第 1 から第 3 大臼歯の特徴と比較 機能咬頭と誘導咬頭	講 義	2
8	下顎大臼歯 第 1 から第 3 大臼歯の特徴と比較	講 義	2
9	乳歯総論、乳前歯、乳臼歯、萌出時期	講 義	2
10	歯列咬合、歯の異常	講 義	2
11	顔面と口腔の発生、顎関節の構造と機能	講 義	2
12	舌、舌筋、舌の脈管と神経、咽頭	講 義	2
13	三叉神経 (眼神経、上顎神経、下顎神経)	講 義	2
14	顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	講 義	2
15	口腔解剖学のまとめ	講 義	2

組織発生学

時間数	20 時間	単位数	1 単位		
担当者	中川 敏浩			実務経験	歯科医師
一般目標	①人体の構造を学ぶために、細胞および組織の基本構造を理解する ②正常発生と成長過程の知識を得るために、個体発生の機序を理解する ③歯と歯周組織の疾患を理解するために、その微細構造を理解する				
成績評価	多種選択式の試験を行う				
教科書	人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	細胞と組織 1	講 義	2
2	細胞と組織 2	講 義	2
3	細胞と組織 3	講 義	2
4	細胞と組織 4	講 義	2
5	発生 1	講 義	2
6	発生 2	講 義	2
7	歯および歯周組織の構造と機能 1	講 義	2
8	歯および歯周組織の構造と機能 2	講 義	2
9	歯および歯周組織の構造と機能 3	講 義	2
10	歯および歯周組織の構造と機能 4	講 義	2

口腔生理学

時間数	16 時間	単位数	1 単位		
担当者	川合 宏仁、大須賀謙二、古山 昭			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科衛生士として必要最低限の正常な口腔機能を修得させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験 (90%) 出席 (10%)				
教科書	医歯薬出版株式会社 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学、口腔組織発生学・口腔生理学				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯と口腔の感覚	講 義	2
2	味覚と嗅覚	講 義	2
3	咬合と咀嚼・嗅覚	講 義	2
4	嚥下と嘔吐	講 義	2
5	発声	講 義	2
6	唾液 1	講 義	2
7	唾液 2	講 義	2
8	歯および歯周組織の構造と機能	講 義	2

口腔生化学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	前田 豊信、鈴木 厚子			実務経験	歯科医師
一般目標	(1)健康維持・疾病改善のための食生活・栄養摂取に関する指導法を修得する。				
成績評価	適宜行う小テストの結果により形成的評価を行い、前期・後期の定期試験の成績により総合的評価を行う。60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 医歯薬出版				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	唾液の生化学 1	講 義	2
2	唾液の生化学 2 (代用甘味料)	講 義	2
3	ブラークの生化学	講 義	2
4	栄養素の基礎知識 1	講 義	2
5	栄養素の基礎知識 2	講 義	2
6	栄養素の基礎知識 3	講 義	2
7	食事摂取基準 1	講 義	2
8	食事摂取基準 2	講 義	2
9	栄養素の働き 1	講 義	2
10	栄養素の働き 2	講 義	2
11	栄養素の働き 3	講 義	2
12	食生活と健康	講 義	2
13	日本人の食事摂取基準 1	講 義	2
14	日本人の食事摂取基準 2	講 義	2
15	日本人の食事摂取基準 3	講 義	2

病理学・口腔病理学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	遊佐 淳子、櫻井 裕子		実務経験	歯科医師	
一般目標	疾病を総括的に理解するために病理概説として、病因論、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍、遺伝性疾患および奇形について概略を学ぶ。歯科臨床における疾病を理解するために口腔病理として、歯の硬組織疾患(う蝕)、歯髄、歯周組織、顎骨、口腔粘膜などの顎口腔領域全般における疾患について、原因、分類、病理発生、臨床像および病理組織像の特徴などを学ぶ。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	病理学とは 病因論 遺伝性疾患と奇形	講 義	2
2	循環障害 代謝障害と退行性病変	講 義	2
3	増殖と修復	講 義	2
4	炎症と免疫応答異常	講 義	2
5	腫瘍	講 義	2
6	歯の発育異常 歯の損傷と着色・付着物	講 義	2
7	う蝕	講 義	2
8	象牙質・歯髄複合体の病態	講 義	2
9	歯周組織の病態 I	講 義	2
10	歯周組織の病態 II	講 義	2
11	口腔粘膜の病変 口腔領域の嚢胞	講 義	2
12	口腔領域の腫瘍 口腔癌	講 義	2
13	顎骨の病変 唾液腺の病変	講 義	2
14	口腔領域の奇形 口腔組織の加齢変化	講 義	2
15	まとめ	講 義	2

薬理学・歯科薬理学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	長岡 正博			実務経験	歯科医師
一般目標	1) 種々の方法で適応された薬物の生体運命を理解する。 2) 一般的な歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔及び全身麻酔の基本を理解する。				
成績評価	評価は、筆記試験を行い 100 点満点で 60 点以上のものを合格とする。				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 医歯薬出版 2008 年				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	総論 (1)	講 義	2
2	総論 (2)	講 義	2
3	中枢神経系と薬	講 義	2
4	末梢神経系と薬 (1) 自律神経作用薬	講 義	2
5	末梢神経系と薬 (2) 局所麻酔薬	講 義	2
6	循環・呼吸器系と薬	講 義	2
7	血液と薬	講 義	2
8	炎症と薬	講 義	2
9	ビタミン・ホルモンと薬 漢方医学と薬	講 義	2
10	感染症と薬 (1) 抗感染症薬	講 義	2
11	感染症と薬 (2) 消毒薬	講 義	2
12	悪性腫瘍と薬 免疫と薬	講 義	2
13	歯・歯髄疾患と薬	講 義	2
14	歯周疾患と薬 顎・口腔粘膜疾患と薬	講 義	2
15	服薬指導	講 義	2

微生物学・口腔微生物学

時 間 数	40 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	清浦 有祐			実務経験	歯科医師
一般目標	微生物の種類と特性および感染微生物の病原性を理解する。感染防御手段としての滅菌及び消毒を理解する。口腔感染症とそれに対する防御機構を理解する。				
成績評価	筆記試験 (70%) 授業態度 (15%) 出席 (15%)				
教科書	「最新歯科衛生士教本 微生物学」医歯薬出版				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	微生物学概論	講 義	2
2	滅菌と消毒	講 義	2
3	感染について	講 義	2
4	免疫学概論	講 義	2
5	抗原と抗体	講 義	2
6	免疫担当細胞	講 義	2
7	アレルギー	講 義	2
8	口腔微生物学概論	講 義	2
9	歯垢細菌	講 義	2
10	齲蝕の発症機序	講 義	2
11	齲蝕原性細菌	講 義	2
12	歯周病の発症機序	講 義	2
13	歯周病原性細菌の性質	講 義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
14	口腔病変をおこすウイルス	講 義	2
15	口腔病変をおこす真菌	講 義	2
16	病院感染	講 義	2
17	肝炎ウイルス	講 義	2
18	AIDS ウィルス	講 義	2
19	MRSA とその他の多剤耐性細菌	実 習	2
20	病原細菌の取り扱い方 病原細菌の形態観察	実 習	2

口腔衛生学

時 間 数	60 時間	単位数	4 単位		
担 当 者	大橋 明石		実務経験	歯科医師	
一般目標	口腔衛生学は歯・口腔の健康を通じて国民のQOLの向上や自己実現への支援をはかる学問である。臨床・地域保健の場において人々の健康の保持・増進をはかるため、歯科衛生士として必要な対応策および基礎知識を習得する。				
成績評価	定期試験の結果を元に総合的に評価する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「保健生態学」(医歯薬出版)				
参 考 書	配布プリント				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	【 総論 】 口腔衛生学の意義、歯・口腔の健康①	講 義	2
2	歯・口腔の健康②	講 義	2
3	歯・口腔の付着物・沈着物①	講 義	2
4	歯・口腔の付着物・沈着物②	講 義	2
5	歯・口腔の付着物・沈着物③	講 義	2
6	【 口腔清掃 】 口腔清掃法、歯磨剤①	講 義	2
7	歯磨剤②	講 義	2
8	【 う蝕の予防 】 う蝕の発生要因	講 義	2
9	う蝕の発生機序	講 義	2
10	う蝕の活動性	講 義	2
11	う蝕予防の3相5段	講 義	2
12	う蝕の具体的予防方法	講 義	2
13	【 フッ化物によるう蝕予防 】 基礎知識、分布	講 義	2
14	応用法、予防機序	講 義	2
15	【 前期のまとめ 】	講 義	2
16	【 フッ化物によるう蝕予防 】 毒性	講 義	2
17	【 その他の疾患 】 口臭	講 義	2
18	【 地域保健・公衆衛生 】 基礎①	講 義	2
19	基礎②	講 義	2
20	母子歯科保健①	講 義	2
21	母子歯科保健②	講 義	2
22	学校歯科保健①	講 義	2
23	学校歯科保健②	講 義	2
24	高齢者の保健、介護保険①	講 義	2
25	高齢者の保健、介護保険②	講 義	2
26	産業歯科保健	講 義	2
27	【 歯科疾患の疫学 】 基礎	講 義	2
28	歯科疾患の指標①	講 義	2
29	歯科疾患の指標②	講 義	2
30	【 後期のまとめ 】	講 義	2

衛生・公衆衛生学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	廣瀬 公治、小林美智代			実務経験	歯科医師
一般目標	歯・口腔から人間そのものを含めた「健康」について、個人はもとより人間集団の現象をとらえて、疾病・異常の原因追究、疾病の予防、さらには健康の増進にいたるまで考え、その手法を理解する。併せて、その知識と教養を身につけ、歯科医療の場で活用できる能力を習得する。				
成績評価	筆記試験（80％） 授業態度（10％） 出欠有無（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「保健生態学」（医歯薬出版）				
参 考 書	国民衛生の動向・2006年 第53巻第9号				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	総論（衛生・公衆衛生学の定義、健康の概念、予防医学の概念）	講 義	2
2	人口（人口に関する統計、人口静態統計）	講 義	2
3	人口（人口動態統計、生命表）	講 義	2
4	環境と健康（空気、温熱環境）	講 義	2
5	環境と健康（上水、下水）	講 義	2
6	環境と健康（廃棄物、環境保全）	講 義	2
7	環境と健康（地球環境など）	講 義	2
8	疫学（疫学の定義、疾病異常の発生要因）	講 義	2
9	疫学（疫学の方法論、スクリーニング）	講 義	2
10	感染症（感染の概念、感染の三大要因）	講 義	2
11	感染症（感染の予防対策、感染の動向）	講 義	2
12	食品と健康（食事摂取基準、国民栄養の現状）	講 義	2
13	食品と健康（食品衛生、食中毒、食品添加物）	講 義	2
14	地域保健、母子保健、学校保健	講 義	2
15	成人保健、産業保健、精神保健	講 義	2

歯科衛生士概論

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	福井 和徳			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科衛生士として必要な歯科医学、歯科医療の構成要素の概略を理解する。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	歯科衛生学総論				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	オリエンテーション、口腔内環境	講 義	2
2	口腔の構造と機能	講 義	2
3	歯科医療の3要素と歯科医療の目的	講 義	2
4	歯科衛生士の役割、業務	講 義	2
5	歯科口腔疾患の概要	講 義	2
6	歯科診療の流れと歯科医療の特異性	講 義	2
7	歯科医療の分野	講 義	2
8	歯科生体材料の種類と特徴	講 義	2

医療倫理学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	長岡 正博			実務経験	歯科医師
一般目標	医の倫理の原則を学ぶとともに、インフォームドコンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎となる行動科学を習得する。				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 (医歯薬出版)				
参考書					

回数	講義内容	授業形態	時間
1	いまなぜ歯科衛生士は医療倫理を学ぶのか	講義	2
2	歯科医療現場における医療従事者としての立場と視点	講義	2
3	歯科医療現場における人間関係	講義	2
4	他の医療職種との関係	講義	2
5	インフォームドコンセントとはなにか	講義	2
6	インフォームドコンセントの実際・倫理的意義	講義	2
7	QOL (Quality of life)	講義	2
8	医療現場における人の行動特性	講義	2
9	患者の行動特性・医療従事者の行動特性	講義	2
10	チームアプローチとは	講義	2
11	医療現場におけるコミュニケーション ―患者理解のために―	講義	2
12	演習Ⅰ (エゴグラム―自己理解)	演習	2
13	演習Ⅱ (患者対応ロールプレイ―他者理解)	演習	2
14	バイオエシックス (生命倫理) について	講義	2
15	医療倫理に関連する宣言と法令	講義	2

歯科臨床概論

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	川鍋 仁			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科臨床の概念を学習し理解させることを目標とする。				
成績評価	筆記試験 (80%) 出席 (20%)				
教科書	歯科衛生士のための 歯科臨床概論				
参考書					

回数	講義内容	授業形態	時間
1	歯科医療 (医の倫理とインフォームドコンセント、歯科医療の特異性) 歯科患者 (患者への対応、小児や特殊歯科患者への対応)	講義	2
2	歯科疾患の概要 (歯の発育、萌出異常および硬組織の疾患、歯髄および根尖歯周組織の疾患、歯周疾患、不正咬合を含む歯、顎、顔面異常、歯列欠損状態)	講義	2
3	歯科疾患の概要 (顎骨、唾液腺および口腔軟組織疾患、舌の疾患、口腔領域の神経の病変、全身疾患に関連する口腔病変)	講義	2
4	歯科診療所 (歯科診療所の診療分野と設備内容) 歯科診療のながれの概要 (患者誘導、予備準備、前準備、口腔内診査、救急処置)	講義	2
5	歯科保存修復 (う窩の診査、歯質の切削、窩洞形成、覆髄、形成修復、インレー形成、 歯科材料)	講義	2
6	歯内療法 (歯髄診断、歯髄鎮静法、生活歯髄切断法、抜髄法、歯内外科)	講義	2
7	歯周治療 (歯周疾患の種類と原因および症状、歯周診査・診断・治療方針の決定、 基本治療、歯周外科治療、メインテナンス)	講義	2
8	歯科補綴治療 (歯冠補綴の分類・適応、ブリッジの構成・種類、支台築造) 床義歯 (部分床義歯の構成、全部床義歯の構成、咬合学)	講義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
9	中間試験	講 義	2
10	小児歯科治療（小児の特徴と小児および保護者への対応、小児歯科診療の特徴）	講 義	2
11	矯正歯科治療（不正咬合の種類、診断および治療方針の決定、矯正歯科治療における経過、矯正歯科治療の器具および装置、矯正力による歯の移動様式）	講 義	2
12	口腔外科（口腔領域の炎症疾患、外傷、腫瘍性疾患、嚢胞性疾患および奇形）	講 義	2
13	臨床検査（X線検査、バイオプシー、血液検査、尿検査、血圧測定、細菌検査）	講 義	2
14	院内感染、歯科材料（印象材、石膏、合着セメント、レジン）	講 義	2
15	定期試験	講 義	2

う蝕・歯周予防処置法 I

時 間 数	150 時間	単位数	4 単位		
担 当 者	石河 香子、菅野 明子、河野ひとみ、國分 明子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために必要な知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	試験（90%） 実技・授業態度（10%）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書	新歯科衛生士教本 歯科予防処置 最新歯科衛生士教本 歯周疾患				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯科予防処置の概要	講 義	2
2	口腔の基礎知識 1	講 義	2
3	口腔の基礎知識 2	講 義	2
4	う蝕と歯周病の基礎知識 1	講 義	2
5	う蝕と歯周病の基礎知識 2	講 義	2
6	う蝕と歯周病の基礎知識 3	講 義	2
7	う蝕・歯周病 1	講 義	2
8	う蝕・歯周病 2	講 義	2
9	手用スクレーラーについて	講 義	2
10	シックルスクレーラーの操作法	講 義	2
11	シックルスクレーラーの操作法	講 義	2
12	エクスプローラーについて	講 義	2
13	歯牙排列模型上での訓練 35、45	実 習	2
14	歯牙排列模型上での訓練 35、46	実 習	2
15	歯牙排列模型上での訓練 36、46	実 習	2
16	歯牙排列模型上での訓練 36、47	実 習	2
17	マネキン実習について	実 習	2
18	マネキン実習について	実 習	2
19	シックルスクレーラーマネキン基本練習 下顎前歯部（43. 42. 41. 31. 32. 33）	実 習	2
20	シックルスクレーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
21	シックルスクレーラーマネキン基本練習 下顎前歯部（43. 42. 41. 31. 32. 33）	実 習	2
22	シックルスクレーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
23	シックルスクレーラーマネキン基本練習 上顎前歯部（13. 12. 11. 21. 22. 23）	実 習	2
24	シックルスクレーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
25	シックルスクレーラーマネキン基本練習 下顎右側臼歯部（47. 46. 45. 44）	実 習	2
26	シックルスクレーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
27	シックルスクレーラーマネキン基本練習 上顎右側臼歯部（17. 16. 15. 14）	実 習	2
28	シックルスクレーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
29	シックルスクレーラーマネキン基本練習 下顎左側臼歯部（37. 36. 35. 34）	実 習	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
30	シックルスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
31	シックルスケーラーマネキン基本練習 上顎左側臼歯部 (27. 26. 25. 24)	実 習	2
32	シックルスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
33	歯面研磨について	実 習	2
34	歯面研磨マネキン実習	実 習	2
35	シックルスケーラーマネキン基本練習 総合	実 習	2
36	シックルスケーラーマネキン基本練習 総合	実 習	2
37	キュレットスケーラーの操作法	講 義	2
38	キュレットスケーラーの操作法	講 義	2
39	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部 (43. 42. 41. 31. 32. 33)	実 習	2
40	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎前歯部 (13. 12. 11. 21. 22. 23)	実 習	2
41	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎前歯部 (43. 42. 41. 31. 32. 33)	実 習	2
42	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
43	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎前歯部 (13. 12. 11. 21. 22. 23)	実 習	2
44	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
45	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎右側臼歯部 (47. 46. 45. 44)	実 習	2
46	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎右側臼歯部 (17. 16. 15. 14)	実 習	2
47	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎右側臼歯部 (47. 46. 45. 44)	実 習	2
48	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
49	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎右側臼歯部 (17. 16. 15. 14)	実 習	2
50	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
51	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎左側臼歯部 (37. 36. 35. 34)	実 習	2
52	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎左側臼歯部 (27. 26. 25. 24)	実 習	2
53	キュレットスケーラーマネキン基本練習 下顎左側臼歯部 (37. 36. 35. 34)	実 習	2
54	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
55	キュレットスケーラーマネキン基本練習 上顎左側臼歯部 (27. 26. 25. 24)	実 習	2
56	キュレットスケーラーマネキン基本練習 チェック	実 習	2
57	スケーリング相互実習について	講 義	2
58	スケーリング相互実習について	講 義	2
59	スケーリング相互実習について	講 義	2
60	シックルスケーラー相互実習 下顎前歯部	実 習	2
61	シックルスケーラー相互実習 下顎前歯部	実 習	2
62	シックルスケーラー相互実習 下顎前歯部 上顎前歯部	実 習	2
63	シックルスケーラー相互実習 下顎前歯部 上顎前歯部	実 習	2
64	シックルスケーラー相互実習 上顎前歯部	実 習	2
65	シックルスケーラー相互実習 上顎前歯部	実 習	2
66	シックルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部	実 習	2
67	シックルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部	実 習	2
68	シックルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部 上顎右側臼歯部	実 習	2
69	シックルスケーラー相互実習 下顎右側臼歯部 上顎右側臼歯部	実 習	2
70	シックルスケーラー相互実習 上顎右側臼歯部	実 習	2
71	シックルスケーラー相互実習 上顎右側臼歯部	実 習	2
72	シックルスケーラー相互実習 下顎左側臼歯部	実 習	2
73	シックルスケーラー相互実習 下顎左側臼歯部	実 習	2
74	シックルスケーラー相互実習 上顎左側臼歯部	実 習	2
75	シックルスケーラー相互実習 上顎左側臼歯部	実 習	2

歯科保健指導法 I

時 間 数	110 時間	単位数	3 単位		
担 当 者	河野ひとみ、石河 香子、菅野 明子、國分 明子、 長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論、口腔保健管理				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯科保健指導の概要 I 健康教育とヘルスプロモーション	講 義	2
2	歯科保健指導の概要 II 健康教育と保健指導	講 義	2
3	歯科保健指導の概要 III 口腔保健正常像の理解	講 義	2
4	歯科保健指導の概要 IV 歯科保健行動	講 義	2
5	口腔清掃自習法 I 口腔の汚れの状態と観察	講 義	2
6	口腔清掃自習法 I 口腔の汚れの状態と観察	実 習	2
7	口腔清掃自習法 II 歯垢染色剤、染色法	講 義	2
8	口腔清掃自習法 II 歯垢染色剤、染色法	実 習	2
9	口腔清掃自習法 III 口腔清掃自習	講・実	2
10	口腔観察法 I 口腔清掃指数 1	講・実	2
11	口腔観察法 I 口腔清掃指数 2	実 習	2
12	口腔衛生指導 (患者役)	実 習	2
13	口腔衛生指導 (患者役)	実 習	2
14	口腔清掃指導法 I 歯ブラシの基礎知識	講 義	2
15	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの調査	実 習	2
16	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの調査	実 習	2
17	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの検討実習 1	実 習	2
18	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの検討実習 1	実 習	2
19	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの検討実習 2	実 習	2
20	口腔清掃指導法 II 歯ブラシの検討実習 2	実 習	2
21	口腔清掃指導法 III 各種ブラッシング法 1	講 義	2
22	口腔清掃指導法 III 各種ブラッシング法 2	実 習	2
23	口腔清掃指導法 III 各種ブラッシング法 2	実 習	2
24	口腔清掃指導法 IV 歯磨剤検討実習 1	講 義	2
25	口腔清掃指導法 IV 歯磨剤検討実習 2-1	実 習	2
26	口腔清掃指導法 IV 歯磨剤検討実習 2-2	実 習	2
27	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具について	講 義	2
28	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (フロッシング)	講 義	2
29	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (フロッシング)	実 習	2
30	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (歯間ブラシ)	講 義	2
31	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (歯間ブラシ)	実 習	2
32	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (電動歯ブラシ)	講 義	2
33	口腔清掃指導法 V 補助清掃器具 (電動歯ブラシ)	実 習	2
34	ブラッシング指導の実際	講 義	2
35	媒体作成 1 テーマの決定	実 習	2
36	媒体作成 1 テーマの決定	実 習	2
37	媒体作成 2 内容の具体化	実 習	2
38	媒体作成 2 内容の具体化	実 習	2
39	媒体作成 3 台本の完成	実 習	2
40	媒体作成 3 台本の完成	実 習	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
41	媒体作成 4 台本の手直し、録音、媒体作成	実 習	2
42	媒体作成 4 台本の手直し、録音、媒体作成	実 習	2
43	媒体作成 5 録音、媒体作成	実 習	2
44	媒体作成 5 録音、媒体作成	実 習	2
45	媒体作成 6 録音、媒体作成	実 習	2
46	媒体作成 6 録音、媒体作成	実 習	2
47	媒体作成 7 録音、媒体作成	実 習	2
48	媒体作成 7 録音、媒体作成	実 習	2
49	媒体作成 8 録音、媒体作成	実 習	2
50	媒体作成 8 録音、媒体作成	実 習	2
51	媒体作成 9 録音手直し、演技練習	実 習	2
52	媒体作成 9 録音手直し、演技練習	実 習	2
53	対象別歯科保健指導 乳幼児—1	講 義	2
54	対象別歯科保健指導 乳幼児—2	講 義	2
55	対象別歯科保健指導 乳幼児—3	講 義	2

歯科診療補助法 I

時 間 数	120 時間	単位数	3 単位		
担 当 者	國分 明子、菅野 明子、河野ひとみ、石河 香子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いが出来るようにする。				
成績評価	筆記試験 (90%) 実習 (10%)				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助 (医歯薬出版) (第 2 版) 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い (医歯薬出版) 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い (医歯薬出版)				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	1 章 歯科診療補助の概念	講 義	2
2	3 章 歯科診療における基礎知識	講 義	2
3	歯科診療における受診の流れ	講 義	2
4	歯科診療における受診の流れ	講 義	2
5	共同動作	講 義	2
6	共同動作	講 義	2
7	薬品 歯科材料の管理	講 義	2
8	歯科材料の基礎知識	講 義	2
9	歯科材料の基礎知識	講 義	2
10	模型用材料 石膏	講 義	2
11	石膏棒作製 実習	実 習	2
12	衛生材料作製について① (綿球 ロールワッテ、ガーゼ)	実 習	2
13	衛生材料作製について① 実習	実 習	2
14	衛生材料① 検印	実 習	2
15	衛生材料作製について② (綿栓)	実 習	2
16	衛生材料作製について② 実習	実 習	2
17	衛生材料② 検印	実 習	2
18	仮封材 基礎知識	講 義	2
19	仮封材 取り扱い① 実習	実 習	2
20	仮封材 取り扱い② 実習	実 習	2
21	仮封材 検印①	実 習	2
22	仮封材 検印②	実 習	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
23	合着材 接着材の基礎知識	講 義	2
24	合着材 接着材の取り扱い① 実習	実 習	2
25	合着材 接着材の取り扱い② 実習	実 習	2
26	合着材 接着材 検印①	実 習	2
27	合着材 接着材 検印②	実 習	2
28	印象材の基礎知識	講 義	2
29	印象材の基礎知識 トレー	講 義	2
30	印象材の取り扱い アルジネート 実習	実 習	2
31	印象材の取り扱い アルジネート 実習	実 習	2
32	印象材の取り扱い アルジネート 実習	実 習	2
33	印象材の取り扱い アルジネート 実習	実 習	2
34	印象材の取り扱い 寒天 実習	実 習	2
35	印象材の取り扱い 寒天 実習	実 習	2
36	印象材の取り扱い ゴム質 実習	実 習	2
37	印象材の取り扱い ゴム質 実習	実 習	2
38	その他の印象材 ワックス 一般診査用器械	講 義	2
39	患者誘導 ライティング	講 義	2
40	バキューム シリンジテクニック	講 義	2
41	患者誘導 バキューム 相互実習	実 習	2
42	患者誘導 バキューム 相互実習	実 習	2
43	印象採得相互実習①	実 習	2
44	印象採得相互実習①	実 習	2
45	印象採得相互実習②模型作製	実 習	2
46	印象採得相互実習②模型作製	実 習	2
47	成形歯冠修復材について	講 義	2
48	成形歯冠修復材について 分離法	講 義	2
49	成形歯冠修復材について 取り扱い コンポジットレジン	実 習	2
50	成形歯冠修復材について 取り扱い グラスアイオノマーセメント	実 習	2
51	研磨と研磨剤 切削用器材について	講 義	2
52	成形歯冠修復材 実習 積層CR 隔壁	実 習	2
53	成形歯冠修復材 実習 積層CR 隔壁	実 習	2
54	研磨実習	実 習	2
55	研磨実習	実 習	2
56	スタディモデル作成実習	実 習	2
57	スタディモデル作成実習	実 習	2
58	表面麻酔による疼痛緩和	講 義	2
59	医療安全とヒヤリハット	講 義	2
60	まとめ	実 習	2

歯科材料学

時 間 数	24 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	岡田 英俊、石田 喜紀、大木 達也、齋藤 龍一		実務経験	歯科医師	
一般目標	歯科生体材料の組成、特性を学びその正しい操作法を理解する。				
成績評価	筆記試験				
教 科 書	ハンディ歯科理工学				
参 考 書	スタンダード歯科理工学				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	オリエンテーション 口腔内環境と歯科生体材料	講 義	2
2	印象用材料 (1) 印象材の所用性質、分類非弾性印象材の種類、組成と特性	講 義	2
3	印象用材料 (2) 弾性印象材の種類、組成と特性	講 義	2
4	模型用材料 模型材の所用性質、組成、硬化機構と性質	講 義	2
5	歯科用金属材料	講 義	2
6	義歯床用材料	講 義	2
7	成形修復材料 (1) 修復材料の所用性質と種類 コンポジットレジン	講 義	2
8	成形修復材料 (2) グラスアイオノマーセメント	講 義	2
9	予防歯科材料 フィッシャーシーラント	講 義	2
10	歯科用セメント (1) セメントの所用性質と種類 グラスアイオノマーセメント	講 義	2
11	歯科用セメント (2) ポリカルボキシレートセメント、レジンセメント、リン酸亜鉛セメント	講 義	2
12	実習 歯科用セメントの操作法	実 習	2

感染予防学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	國分 明子			実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療現場で感染予防ができるために、滅菌、消毒法と感染予防法について知識と技術を習得する。				
成績評価	筆記試験 (90%) 平常点 (10%)				
教 科 書					
参 考 書	感染予防対策と滅菌 消毒洗浄院内感染予防マニュアル				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	医療安全と感染予防	講 義	2
2	歯科医療における感染予防対策	講 義	2
3	手指消毒	講 義	2
4	滅菌と消毒、その他の消毒法	講 義	2
5	滅菌と消毒、その他の消毒法 ハイリスク患者の器材の取り扱い	講 義	2
6	器具類の滅菌・消毒処理の実際	講 義	2
7	医療廃棄物、感染症	講 義	2
8	歯科衛生士のための感染予防スタンダード 小テスト	講 義	2

令和2年度
教 育 要 項
(シ ラ バ ス)

東北歯科専門学校 歯科衛生士科 第2学年

実務経験のある教員等による授業科目

【 専 門 分 野 】

保 存 修 復 学
歯 内 療 法 学
歯 周 療 法 学
歯科補綴学(冠橋義歯)
歯科補綴学(有床義歯)
歯 科 矯 正 学
口 腔 外 科 学
小 児 歯 科 学
う蝕・歯周予防処置法Ⅱ
歯科保健指導法Ⅱ
栄 養 と 人 体
歯科診療補助法Ⅱ
臨床検査(生理学)
臨床検査(口腔衛生学)
臨床検査(歯科診療補助法)
歯 科 放 射 線 学
麻 酔 ・ 救 急 蘇 生 法

保存修復学

時 間 数	22 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	山田 嘉重、菊井 徹哉			実務経験	歯科医師
一般目標	歯の硬組織疾患に対する治療に際し適切な補助を行うために、必要な知識を習得する				
成績評価	定期試験時に客観式および論述式試験を行い評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法		全国歯科衛生士教育協議会 監修		
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯の保存療法の種類、口腔診査	講 義	2
2	保存修復の概要、保存修復学とは、窩洞と保存修復治療	講 義	2
3	保存修復治療の概要、保存修復治療の準備、歯の切削、窩洞形成	講 義	2
4	歯髄の保護、保存修復法の種類	講 義	2
5	コンポジットレジン修復① 組成と種類	講 義	2
6	コンポジットレジン修復② 特徴、適応症、修復手順	講 義	2
7	セメント修復	講 義	2
8	インレーおよびアンレー修復	講 義	2
9	ベニア修復、合着材および接着材	講 義	2
回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
10	保存修復における歯科衛生士の役割	講 義	2
11	保存修復 まとめ テスト対策	講 義	2

歯内療法学

時 間 数	22 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	佐藤 穂子、長崎 慶太			実務経験	歯科医師
一般目標	歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾病に対する予防と治療を行うために基本的な知識、技能および態度を習得する。				
成績評価	定期試験の結果により評価する。期末試験欠席者に対し、追試験を行う。また、必要に応じて再試験を行う。				
教 科 書	歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法		全国歯科衛生士教育協議会 監修		
参 考 書	教科書に追加する資料として担当教員が作成したプリントを配布する。				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯内療法の概要（その1）	講 義	2
2	歯内療法の概要（その2）	講 義	2
3	歯髄の保存療法	講 義	2
4	歯髄 除去療法	講 義	2
5	根管治療、根管充填（その1）	講 義	2
6	根管治療、根管充填（その2）	講 義	2
7	外科的歯内療法	講 義	2
8	歯の外傷	講 義	2
9	歯内療法における安全対策	講 義	2
10	歯内療法における歯科衛生士の役割	講 義	2
11	歯のホワイトニング	講 義	2

歯周療法学

時間数	22 時間	単位数	1 単位		
担当者	高橋 慶壮			実務経験	歯科医師
一般目標	歯周病の治療と予防を行うために、歯周組織の常態、疾患の特徴および治療方法について、基本的な知識を修得する。				
成績評価	記述式の定期試験にて評価し、60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯周疾患 (医歯薬出版株式会社)				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	正常歯周組織の構造と機能	講 義	2
2	歯周疾患の分類	講 義	2
3	歯周疾患の原因	講 義	2
4	歯周病のリスク因子	講 義	2
5	歯周疾患の診査	講 義	2
6	歯周基本治療 1 (治療の全体像、プラークコントロール)	講 義	2
7	歯周基本治療 2 (スケーリング・ルートプレーニング)	講 義	2
8	歯周外科治療 1 (分類、治癒形態、器具、術式)	講 義	2
9	歯周外科治療 2 (術式の続き)、根分岐部病変、歯周-歯内病変	講 義	2
10	歯周治療としてのリハビリテーション (咬合調整、矯正治療、暫間固定、欠損補綴、インプラント)	講 義	2
11	メンテナンス	講 義	2

歯科補綴学 (冠橋義歯)

時間数	16 時間	単位数	1 単位		
担当者	雨宮 幹樹、伊藤 歩			実務経験	歯科医師
一般目標	歯質、少数歯の欠損にともなって生じた形態、機能、および外観上の障害を人工歯冠によって回復、あるいは橋義歯によって回復する際に、歯科医師と連携して診療補助を行うために必要な冠橋義歯補綴の知識を習得する。				
成績評価	全講義終了後に試験を行い、60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 (医歯薬出版)				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	冠橋義歯による補綴治療とは	講 義	2
2	冠橋義歯補綴治療の基礎知識	講 義	2
3	クラウン、ブリッジの種類	講 義	2
4	冠橋義歯補綴治療の流れ	講 義	2
5	全部被覆冠	講 義	2
6	部分被覆冠	講 義	2
7	ブリッジ	講 義	2
8	予後管理	講 義	2

歯科補綴学（有床義歯）

時間数	16 時間	単位数	1 単位		
担当者	山森 徹雄			実務経験	歯科医師
一般目標	無歯顎患者および部分欠損患者の口腔機能を回復して健康の維持・増進を図るために、有床義歯の臨床的意義と製作過程、患者指導についての理論を修得する。				
成績評価	講義中の試問により形成的評価を行い、筆記試験により総括的評価を行う。60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴（医歯薬出版）				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯科補綴治療の基礎知識 (1) 顎口腔系の解剖と機能 (2) 歯の喪失に伴う変化	講 義	2
2	全部床義歯の臨床 1 (1) 分類と構成要素 (2) 臨床ステップ概説	講 義	2
3	全部床義歯の臨床 2 (1) 臨床操作①	講 義	2
4	全部床義歯の臨床 3 (1) 臨床操作② (2) 技工操作	講 義	2
5	部分床義歯の臨床 1 (1) 分類 (2) 構成要素①	講 義	2
6	部分床義歯の臨床 2 (1) 構成要素② (2) 臨床操作①	講 義	2
7	部分床義歯の臨床 3 (1) 臨床操作② (2) 技工操作	講 義	2
8	特殊な名称をもつ義歯と有床義歯の補修 (1) 治療目的や構成による特殊な名称 (2) 補修と患者指導	講 義	2

歯科矯正学

時間数	30 時間	単位数	2 単位		
担当者	板橋 仁、黒田 栄子、細谷 尚史、山野辺晋也			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科矯正学についての知識を身につけるために成長発育、咬合、矯正治療の実際、器具等について学び、矯正臨床における歯科衛生士の役割について理解する。				
成績評価	定期試験の成績によって評価し、60 点以上を合格とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正学（医歯薬出版）				
参考書	第 5 版 歯科矯正学（医歯薬出版）				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	概論・成長発育 1 (頭部・顎)	講 義	2
2	成長発育 2 (歯・歯列)	講 義	2
3	正常咬合	講 義	2
4	不正咬合 1	講 義	2
5	不正咬合 2・矯正歯科診断 1	講 義	2
6	矯正歯科診断 2	講 義	2
7	矯正歯科治療と“力”(矯正力・顎整形力・保定)	講 義	2
8	矯正装置	講 義	2
9	上下顎の前後的關係の不調和 上下顎の垂直的關係の不調和 成人矯正	講 義	2
10	口腔顎顔面の形成異常と変形 歯の埋伏と歯数の異常	講 義	2
11	矯正歯科治療時のトラブルへの対応健康保険が適用される矯正歯科治療矯正歯科診断にかかわる業務	講 義	2
12	矯正歯科診療時の業務 1	講 義	2
13	矯正歯科診療時の業務 2	講 義	2
14	矯正歯科患者と口腔保健管理・MFT	講 義	2
15	器材、資料、文書の管理・まとめ	講 義	2

口腔外科学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	高田 訓			実務経験	歯科医師
一般目標	顎・口腔領域の疾患に罹患した患者の健康の増進を図るために、顎・口腔領域に生じる疾患の定義、成因、原因、分類を含めた総論的な知識と手術総論・小手術学の知識を習得する。				
成績評価	定期試験にて評価し、60 点以上を合格とする。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	口腔外科の概要	講 義	2
2	顎・口腔領域の先天異常と発育異常	講 義	2
3	顎・口腔領域の損傷および機能障害	講 義	2
4	口腔粘膜の病変 (1)	講 義	2
5	口腔粘膜の病変 (2)	講 義	2
6	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	講 義	2
7	顎・口腔領域の嚢胞性疾患	講 義	2
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	講 義	2
9	唾液腺疾患	講 義	2
10	口腔領域の神経疾患	講 義	2
11	口腔外科診療の実際 (1)	講 義	2
12	口腔外科診療の実際 (2)	講 義	2
13	口腔外科の臨床における歯科衛生士のかかわり (1)	講 義	2
14	口腔外科の臨床における歯科衛生士のかかわり (2)	講 義	2
15	復習とまとめ	講 義	2

小児歯科学

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	島村 和宏			実務経験	歯科医師
一般目標	小児の口腔の健康維持、正常な歯列・咬合の育成をはかるために、成長発育（心身の発育）について学び、小児の口腔発育・発達および種々の口腔疾患を理解して、その治療法と予防法並びに介補についての知識と技術を習得する。				
成績評価	学年末に筆記形式の定期試験で形成的評価を行う。なお定期試験において学力が不十分と判断された場合は再試験を行う。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 小児歯科				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	小児歯科学概論、心身の発育	講 義	2
2	小児の生理的特徴、顎顔面頭蓋の発育	講 義	2
3	歯の発育と異常	講 義	2
4	歯列・咬合の発育と異常	講 義	2
5	小児の歯科疾患、乳歯・幼若永久歯のう蝕、歯周疾患	講 義	2
6	口腔軟組織の異常と疾患	講 義	2
7	小児期の特徴と歯科の問題点、小児歯科診療の特徴・原則	講 義	2
8	診査・診断、母親教室、小児歯科における麻酔法	講 義	2
9	小児の歯冠修復、小児の歯内療法	講 義	2
10	小児の歯内療法、小児の外科的処置、外傷の処置	講 義	2
11	咬合誘導、フッ化ジアンミン銀塗布、定期診査	講 義	2
12	患児・保護者との関係、小児への歯科の対応法	講 義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
13	障害児の歯科治療、歯科衛生士の役割（診察・検査時の業務）	講 義	2
14	歯科衛生士の役割（う蝕予防）、診療補助1（保存修復、歯内療法）	講 義	2
15	診療補助2（外科的処置、咬合誘導）、口腔保健管理、資器材管理	講 義	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（歯周予防処置法）

時 間 数	88 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	石河 香子、河野ひとみ、菅野 明子、國分 明子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯科臨床の場で、う蝕・歯周予防処置を行うにあたり、必要な知識と技術、態度をマネキン実習・学生相互実習を通し習得する。				
成績評価	試験（90%） 実技・授業態度（10%）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	相互実習のまとめ	講 義	2
2	超音波スケーラー、エアースケーラーについて	講 義	2
3	超音波スケーラー、エアースケーラーについて	講 義	2
4	歯面清掃器について	講 義	2
5	超音波スケーラー、エアースケーラー模型実習	実 習	2
6	プロービングについて	講 義	2
7	プロービングについて	講 義	2
8	PMTTCについて	講 義	2
9	PMTTCについて	講 義	2
10	プロービングマネキン実習	実 習	2
11	プロービングマネキン実習	実 習	2
12	術前説明原稿作成実習	実 習	2
13	術前説明原稿作成実習	実 習	2
14	プロービング相互実習 事前説明	実 習	2
15	プロービング相互実習 ①	実 習	2
16	プロービング相互実習 ②	実 習	2
17	プロービング相互実習 ③	実 習	2
18	PMTTC相互実習 事前説明	実 習	2
19	PMTTC相互実習 ①	実 習	2
20	PMTTC相互実習 ②	実 習	2
21	PMTTC相互実習 ③	実 習	2
22	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ①	実 習	2
23	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ②	実 習	2
24	キュレットスケーラー相互実習 下顎前歯部 ③	実 習	2
25	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ①	実 習	2
26	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ②	実 習	2
27	キュレットスケーラー相互実習 上顎前歯部 ③	実 習	2
28	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ①	実 習	2
29	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ②	実 習	2
30	キュレットスケーラー相互実習 上下顎右側臼歯部 ③	実 習	2
31	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ①	実 習	2
32	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ②	実 習	2
33	キュレットスケーラー相互実習 上下顎左側臼歯部 ③	実 習	2
34	業務記録について	講 義	2
35	口腔内写真撮影について	講 義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
36	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ①	実 習	2
37	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ②	実 習	2
38	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ③	実 習	2
39	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ④	実 習	2
40	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ⑤	実 習	2
41	超音波・エアースケーラー（口腔内写真撮影含む）相互実習 ⑥	実 習	2
42	口腔内写真整理 まとめ	実 習	2
43	シャープニング実習	実 習	2
44	シャープニング実習	実 習	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅱ（う蝕予防処置法）

時 間 数	32 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	菅野 明子、石河 香子、河野ひとみ、國分 明子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯科臨床の場で、う蝕・歯周予防処置を行うにあたり、必要な知識と技術、態度をマネキン実習・学生相互実習を通し習得する。				
成績評価	試験（90%） 実技・授業態度（10%）				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	う蝕予防処置法について	講 義	2
2	フッ化物応用について	講 義	2
3	フッ化物局所応用について	講 義	2
4	フッ化物の中毒について	講 義	2
5	フッ化ジアンミン銀塗布法について	講 義	2
6	小窩裂溝填塞法について ①	講 義	2
7	小窩裂溝填塞法について ②	講 義	2
8	抜去歯牙応用法	実 習	2
9	抜去歯牙応用法	実 習	2
10	相互実習（小窩裂溝填塞法）	実 習	2
11	相互実習（小窩裂溝填塞法）	実 習	2
12	相互実習（フッ化物塗布）	実 習	2
13	相互実習（フッ化物塗布）	実 習	2
14	集団応用法	実 習	2
15	集団応用法	実 習	2
16	う蝕予防処置法まとめ	講 義	2

歯科保健指導法Ⅱ

時 間 数	90 時間	単位数	3 単位		
担 当 者	河野ひとみ、石河 香子、菅野 明子、國分 明子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる				
成績評価	筆記試験（80%） 演習（10%） 出席（10%）				
教科書	新歯科衛生士教本 歯科保健指導、最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	媒体作製 10 総合練習	実 習	2
2	媒体作製 10 総合練習	実 習	2
3	媒体作製 11 媒体発表会	実 習	2
4	媒体作製 11 媒体発表会	実 習	2
5	対象別歯科保健指導 乳幼児—4	講 義	2
6	対象別歯科保健指導 学童期—1	講 義	2
7	対象別歯科保健指導 学童期—2	講 義	2
8	対象別歯科保健指導 学童期—3	講 義	2
9	小学校歯みがき指導の実際	講 義	2
10	対象別歯科保健指導 青少年期	講 義	2
11	対象別歯科保健指導 成人期	講 義	2
12	対象別歯科保健指導 老人期	講 義	2
13	対象別歯科保健指導 妊産婦—1	講 義	2
14	対象別歯科保健指導 妊産婦—2	講 義	2
15	対象別歯科保健指導 妊産婦—3	講 義	2
16	対象別歯科保健指導 障害者—1	講 義	2
17	対象別歯科保健指導 障害者—2	講 義	2
18	対象別歯科保健指導 要介護者	講 義	2
19	口腔観察法Ⅱ 歯肉の炎症に関する指数	講 義	2
20	口腔観察法Ⅲ 舌頬粘膜観察実習	実 習	2
21	口腔観察法Ⅲ 舌頬粘膜観察実習	実 習	2
22	歯みがき指導の実際	講 義	2
23	歯科保健指導の方法	講 義	2
24	口腔衛生指導（相互実習）	実 習	2
25	口腔衛生指導（相互実習）	実 習	2
26	口腔衛生指導（1年生対象）	実 習	2
27	口腔衛生指導（1年生対象）	実 習	2
28	訪問口腔衛生指導	講 義	2
29	訪問口腔衛生指導	実 習	2
30	訪問口腔衛生指導	実 習	2
31	対象把握	講 義	2
32	対象把握	講 義	2
33	対象把握	講 義	2
34	面接、問診	講 義	2
35	面接、問診	講 義	2
36	面接、問診	講 義	2
37	面接、問診	講 義	2
38	集団指導	講 義	2
39	集団指導	講 義	2
40	集団指導	講 義	2
41	集団指導	講 義	2
42	集団指導	講 義	2
43	小学校保健指導実習	実 習	2
44	小学校保健指導実習	実 習	2
45	小学校保健指導実習	実 習	2

栄養と人体

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	河野ひとみ		実務経験	歯科衛生士	
	廣瀬 公治			歯科医師	
一般目標	個人あるいは集団の人々に対して、歯科疾患、口腔機能の育成、維持を考慮したライフステージ別の栄養、食生活指導を行う能力を身につける。				
成績評価	筆記試験 90% 実習態度 10%				
教科書	新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	食生活の概要	講 義	2
2	食生活の基礎	講 義	2
3	食生活と食品	講 義	2
4	食生活とライフステージ	講 義	2
5	糖（ショ糖）と齲蝕発症との関連	講 義	2
6	低齲蝕原性甘味料について 咀嚼の意義	講 義	2
7	食生活把握法	講 義	2
8	食品の成分	講 義	2
9	幼児食の考え方と指導	講 義	2
10	特殊患者への食事指導	講 義	2
11	調理計画	講 義	2
12	調理実習	実 習	2
13	調理実習	実 習	2
14	食生活把握法実習	講 義	2
15	食生活把握法実習	講 義	2

歯科診療補助法Ⅱ

時 間 数	60 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	國分 明子、菅野 明子、河野ひとみ、石河 香子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いが出来るようにする。				
成績評価	筆記試験（90%） 実習（10%）				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い（医歯薬出版）				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	ラバーダム防湿法（マネキン実習）	講 義	2
2	ラバーダム防湿法（マネキン実習）	実 習	2
3	ラバーダム防湿法（相互実習）	実 習	2
4	ラバーダム防湿法（相互実習）	実 習	2
5	歯肉排除、歯肉包帯材について	講 義	2
6	歯肉排除、歯肉包帯材について（マネキン実習）	実 習	2
7	歯肉排除、歯肉包帯材について（相互実習）	実 習	2
8	暫間被覆冠作製実習（既成冠）	実 習	2
9	暫間被覆冠作製実習（既成冠）	実 習	2
10	暫間被覆冠作製実習（印象採得利用）	実 習	2
11	暫間被覆冠作製実習（印象採得利用）	実 習	2
12	臨床実習に臨んでの心得	講 義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
13	臨床実習直前（各種練和）	実 習	2
14	臨床実習直前（衛生材料）	実 習	2
15	歯と歯周の診療用器材	講 義	2
16	保存修復時のセッティング	講 義	2
17	歯内療法用器材	講 義	2
18	歯内療法時のセッティング	講 義	2
19	歯周療法時のセッティング	講 義	2
20	補綴用器材（铸造冠）	講 義	2
21	補綴用器材（床義歯）	講 義	2
22	補綴治療時のセッティング	講 義	2
23	口腔外科、麻酔用器材	講 義	2
24	小外科手術時の器材の取り扱い	講 義	2
25	口腔外科手術時のセッティング	講 義	2
26	小児歯科用器材	講 義	2
27	小児歯科治療時のセッティング	講 義	2
28	歯科矯正用器材	講 義	2
29	歯科矯正治療時のセッティング	講 義	2
30	セッティングチェック	実 習	2

臨床検査（生理学）

時 間 数	10(30)時間	単位数	(1)単位		
担 当 者	川合 宏仁、富田 修、大須賀謙二、古山 昭		実務経験	歯科医師	
一般目標	歯科衛生士として患者と接する上で必要な臨床検査の概要を理解し、その方法を習得するとともに、検査で得られたデータが表す意味や正常値を理解することを目的とする。				
成績評価	履修態度 50%（出席・小テスト・レポート） 期末試験 50%				
教 科 書	新歯科衛生士教本「歯科診療補助 臨床検査法」（医歯薬出版）				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	血液検査Ⅰ 血液の概要と検査の意義 検査の種類と採血法	講 義	2
2	血液検査Ⅱ 出血性素因の概要と分類 検査の種類と方法	講 義	2
3	生理検査（生体検査） 体温・脈拍・血圧・心電図測定の意味と方法	講 義	2
4	実習 血液型検査・出血時間・血圧測定・スパイログラム・心電図測定	実 習	2
5	実習 血液型検査・出血時間・血圧測定・スパイログラム・心電図測定	実 習	2

臨床検査（口腔衛生学）

時 間 数	12 (30)時間	単位数	(1)単位		
担 当 者	大橋 明石 菅野 明子	実務経験	歯科医師 歯科衛生士		
一般目標	口腔試料および生体試料の臨床検査結果をもとに 健康・疾病・異常に対する適切な保健指導ができるようになるために、生体試料の採取法と検査に必要な基本的な知識、技能、態度を修得する。				
成績評価	筆記試験（80%）、授業態度およびレポート（10%）、出欠有無（10%）				
教 科 書					
参 考 書	保健生態学				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	生体検査、唾液の検査	実 習	2
2	生体検査、唾液の検査	実 習	2
3	口腔検査、齶蝕活動性試験	実 習	2
4	口腔検査、齶蝕活動性試験	実 習	2

臨床検査（歯科診療補助）

時 間 数	8(30) 時間	単位数	(1)単位		
担 当 者	高田 訓			実務経験	歯科医師
	菅野 明子				歯科衛生士
一般目標	検査の結果を歯科指導に役立たせる。				
成績評価	試験、レポート				
教科書					
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	位相差顕微鏡、咬合圧	実 習	2
2	う蝕活動性試験の判定結果について	講 義	2
3	う蝕活動性試験について ①	講 義	2
4	う蝕活動性試験について ②	講 義	2
5	実習 静脈血採血・皮内テスト 血液検査伝票について	講 義	2
6	実習 静脈血採血・皮内テスト 血液検査伝票について	実 習	2

歯科放射線学

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	渡部 剛史			実務経験	歯科医師
一般目標	より安全で良質な歯科診療と診療補助を患者に提供するためにX線撮影に関する知識、技能、態度を習得する。				
成績評価	積極的な聴講態度、試験				
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科放射線学」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社				
参考書	歯科衛生士 国家試験問題集				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯科放射線を学ぶ意義について 放射線の基礎的知識について	講 義	2
2	放射線とX線の特徴・性質について 歯科用X線装置の基本構造・種類について	講 義	2
3	X線撮影の機材について	講 義	2
4	口内法撮影の原理・方法について（フィルム・デジタル）	講 義	2
5	口外法撮影の原理・方法について（フィルム・デジタル）	講 義	2
6	現像の原理・フィルムの管理について	講 義	2
7	放射線の人体影響と患者・術者の防護について	講 義	2
8	放射線治療の方法と副作用に対するケアについて	講 義	2
9	CT、MRI、超音波検査について	講 義	2
10	復習とまとめ	講 義	2

麻酔・救急蘇生法

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	山崎 信也、田中 克典			実務経験	歯科医師
一般目標	安全で苦痛のない歯科診療補助を実践するために必要な麻酔・救急蘇生法の知識を習得する。				
成績評価	試験結果、出席率、授業態度からの総合点で評価する。				
教 科 書	最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版				
参 考 書	佐々木次郎ほか、 歯科医の知っておきたい医学常識 103 選デンタルダイヤモンド社、東京				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	歯科麻酔学概論	講 義	2
2	局所麻酔法	講 義	2
3	全身麻酔法	講 義	2
4	精神鎮静法	講 義	2
5	有病者と歯科治療 I	講 義	2
6	有病者と歯科治療 II	講 義	2
7	偶発症と救急処置 I	講 義	2
8	偶発症と救急処置 II	講 義	2
9	救急蘇生法 I	講 義	2
10	救急蘇生法 II	実 習	2

令和2年度
教 育 要 項
(シ ラ バ ス)

東北歯科専門学校 歯科衛生士科 第3学年

実務経験のある教員等による授業科目

【 専 門 基 礎 分 野 】

歯 科 衛 生 統 計
衛 生 行 政 ・ 社 会 福 祉

【 専 門 分 野 】

高 齢 者 歯 科 学
障 害 者 歯 科 学
う 蝕 ・ 歯 周 予 防 処 置 法 Ⅲ
口 腔 保 健 管 理 法
歯 科 保 健 指 導 法 Ⅲ
歯 科 診 療 補 助 法 Ⅲ
基 礎 介 護

歯科衛生統計

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	廣瀬 公治、小林美智代			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科衛生士の日常業務に統計学的処理を役立てるには歯科保健、口腔衛生を基礎に、歯科衛生統計処理を修得することが大切である。そして、歯科衛生士が歯科医療の場で歯科衛生統計を活用できる能力を習得する。 授業では数値理論や難解な計算式を最小限に止め、実用的な問題から統計手法の理解を高める実務統計学を展開する。また、将来歯科衛生士として歯科臨床・保健領域の職種に携わることを考慮して、歯科衛生の検定法・評価を取入れて歯科保健データの解析を理解する。				
成績評価	筆記試験(80%)，授業態度およびレポート(10%)，出欠有無(10%)				
教科書	保健情報統計学(医歯薬出版社)				
参考書	国民衛生の動向				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	概論(情報の性質、統計処理の考え方、歯科衛生統計の意味・目標)	講 義	2
2	概論(情報収集の進め方、情報の整理、手順、集計、分析方法)	講 義	2
3	う蝕の検出基準、う蝕を表現する指標 (def, DMF)	講 義	2
4	歯周疾患の検出基準、歯周疾患を表す指標	講 義	2
5	歯口清掃状態の検出基準、歯口清掃状態を表す指標	講 義	2
6	母集団と標本、無作為抽出、	講 義	2
7	度数分布、代表値 (平均値、中央値、最頻値)	講 義	2
8	分散度(範囲、分散、標準偏差、変異係数)	講 義	2
9	相関(相関係数、決定係数、回帰直線、相関図)	講 義	2
10	検定 1 (相関係数の検定)、順位相関	講 義	2
11	検定 1 (相関係数の検定)、順位相関等の演習	演 習	2
12	検定 2 (対応のある平均値差検定)	講 義	2
13	検定 2 (対応のある平均値差検定)の演習	演 習	2
14	検定 3 (χ^2 検定) とその演習	演 習	2
15	歯科衛生統計学試験	講 義	2

衛生行政・社会福祉

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	廣瀬 公治、南 健太郎			実務経験	歯科医師
一般目標	歯科衛生士として業務に従事する際に知らなければならない法律の概要を学ぶ。				
成績評価	定期試験を主とし、総合的に評価する。				
教科書	歯科衛生士と法律 (医歯薬出版)				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	法制概論－ 1	講 義	2
2	法制概論－ 2	講 義	2
3	衛生行政の概要	講 義	2
4	保健と医療の動向	講 義	2
5	歯科医師法、歯科技工士法	講 義	2
6	歯科衛生士法－ 1	講 義	2
7	歯科衛生士法－ 2	講 義	2
8	その他の医療従事者の身分法	講 義	2
9	地域保健関連法規－ 1	講 義	2
10	地域保健関連法規－ 2	講 義	2
11	社会福祉の目的及び組織	講 義	2
12	生活保護法	講 義	2
13	母子福祉	講 義	2

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
14	老人福祉	講 義	2
15	障害者（児）福祉	講 義	2

高齢者歯科学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	清野 晃孝		実務経験		歯科医師
一般目標	高齢者の歯科医療に係わる技術的な知識はもちろん、種々の病気と付き合いながら生活している高齢者の心と身体に、どう接するかを含めた知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	定期試験により総括的評価を実施する。				
教科書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	①高齢者の現状 ②高齢者の健康と疾病	講 義	2
2	③高齢者の口腔 ④高齢者に多い口腔領域の疾患	講 義	2
3	⑤高齢者と薬剤 ⑥高齢者の歯科診療における歯科衛生士の役割	講 義	2
4	⑦高齢者の歯科診療の実際と歯科診療補助	講 義	2
5	⑧高齢者の口腔保健管理	講 義	2
6	⑨高齢者の歯科保健指導の実際と留意点	講 義	2
7	⑩要介護高齢者の現状 ⑪要介護高齢者と歯科衛生士	講 義	2
8	⑫訪問歯科保健指導の実際	講 義	2

障害者歯科学

時 間 数	16 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	佐々木重夫		実務経験		歯科医師
一般目標	障害者に対して歯科保健医療を提供するために、障害者に係る社会保障制度や口腔衛生管理に関する基本的知識を習得する。				
成績評価	客観試験にて行う。				
教科書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	障害者の現況	講 義	2
2	障害の種類と歯科的特徴 1	講 義	2
3	障害の種類と歯科的特徴 2	講 義	2
4	障害の種類と歯科的特徴 3	講 義	2
5	障害者の歯科診療	講 義	2
6	障害者における歯科診療補助	講 義	2
7	障害者の口腔保健管理 B/障害者の体験 A	実 習	2
8	障害者の口腔保健管理 A/障害者の体験 B	実 習	2

う蝕・歯周予防処置法Ⅲ（う蝕予防処置法）

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	石河 香子、河野ひとみ、菅野 明子、國分 明子、長谷川央江		実務経験		歯科衛生士
一般目標	臨床の現場における歯科衛生士の役割と業務を理解し、実践できる知識と技術、態度を習得する。				
成績評価	試験（90%） 実技・授業態度（10%）				
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				
参考書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	口腔の基礎知識	講 義	2
2	う蝕と歯周病の基礎知識	講 義	2
3	手用スケーラー シックルスケーラー	講 義	2
4	手用スケーラー キュレットスケーラー	講 義	2
5	プロービング	講 義	2
6	超音波・エアースケーラー・歯面清掃器	講 義	2
7	シャープニング	講 義	2
8	項目別テスト ①	講 義	2
9	項目別テスト ②	講 義	2
10	項目別テスト ③	講 義	2
11	う蝕予防処置について ①	講 義	2
12	う蝕予防処置について ②	講 義	2
13	う蝕活動性試験について	講 義	2
14	う蝕予防処置 テスト・解説	講 義	2
15	予防処置定期テスト	講 義	2

口腔保健管理法

時 間 数	20 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	河野ひとみ、石河 香子、菅野 明子、國分 明子、 長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	生涯を通じた継続的な口腔保健管理法をライフステージごとに実践できる能力を身につけることを目的に、対象者の把握、計画立案、実施、評価を学ぶ。				
成績評価	筆記試験、レポート、演習、出席により総合評価				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	口腔保健の意義	講 義	2
2	対象把握と予防管理法	講 義	2
3	口腔保健管理演習 ①	演 習	2
4	口腔保健管理演習 ②	演 習	2
5	口腔保健管理演習 ③	演 習	2
6	口腔保健管理演習 ④	演 習	2
7	口腔保健管理演習 ⑤	演 習	2
8	口腔保健管理演習 ⑥	演 習	2
9	口腔保健管理演習 ⑦	演 習	2
10	口腔保健管理演習 ⑧	演 習	2

歯科保健指導法Ⅲ

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	河野ひとみ、石河 香子、菅野 明子、國分 明子、 長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	ライフステージ別に多様な生活習慣、健康状態にある個人、および集団に対して最も適した歯科保健行動がとれるように専門的立場から支援できる。				
成績評価	筆記試験 (80%) 演習 (10%) 出席 (10%)				
教 科 書	新歯科衛生士教本 歯科保健指導、最新歯科衛生士教本 口腔保健管理				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	小学校 歯科保健指導実習	実 習	2
2	小学校 歯科保健指導実習	実 習	2
3	口腔保健教育	講 義	2
4	口腔保健教育	講 義	2
5	口腔保健教育	講 義	2
6	成人歯科保健指導	講 義	2
7	成人歯科保健指導	講 義	2
8	成人歯科保健指導	講 義	2
9	成人歯科保健指導	講 義	2
10	成人歯科保健指導	講 義	2
11	症例検討法	講 義	2
12	症例検討法	講 義	2
13	症例検討法	講 義	2
14	情報収集、整理	講 義	2
15	情報収集、整理	講 義	2

歯科診療補助法Ⅲ

時 間 数	30 時間	単位数	1 単位		
担 当 者	國分 明子、菅野 明子、河野ひとみ、石河 香子、長谷川央江		実務経験	歯科衛生士	
一般目標	歯科医療現場における診療の補助、介助とその共同動作、器材の準備、歯科材料の取り扱いが出来るようにする。				
成績評価	筆記試験（90％） 実習（10％）				
教 科 書	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い（医歯薬出版） 新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い（医歯薬出版）				
参 考 書					

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	暫間被覆冠③（即重レジン）	実 習	2
2	暫間被覆冠③（即重レジン）	実 習	2
3	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助	実 習	2
4	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助（循環器 脳血管 呼吸器 代謝 肝疾患系）	実 習	2
5	全身疾患をもつ患者と歯科診療補助（血液 自己免疫 不安愁訴 腎疾患系）	実 習	2
6	発表 補足 ①	実 習	2
7	発表 補足 ②	実 習	2
8	発表 補足 ③	実 習	2
9	歯科訪問診療における対応	講 義	2
10	周術期における歯科診療補助	講 義	2
11	歯科用レーザー	講 義	2
12	インプラントとその材料	講 義	2
13	総論	講 義	2
14	保存治療時の歯科診療補助	講 義	2
15	歯科材料①	講 義	2

基礎介護

時 間 数	30 時間	単位数	2 単位		
担 当 者	長谷川淳子			実務経験	看護師
一般目標	高齢化社会と介護についての基礎的な知識を理解し、また歯科介護の実践に役立つ知識と技術を習得する。				
成績評価	授業態度、試験成績などから総合的に評価する。				
教 科 書	プリント配布				
参 考 書	「歯科衛生士のための歯科介護」 (医歯薬出版)				

回数	講 義 内 容	授業形態	時 間
1	介護とは 介護の現状 高齢化社会問題について	講 義	2
2	介護の誕生と目的 介護保険制度について	講 義	2
3	介護関連の定義・関連用語	講 義	2
4	歯科介護および歯科介護予防	講 義	2
5	老化とは 認知症の概念と定義	講 義	2
6	高齢有病者の歯科的特徴と問題点	講 義	2
7	歯科介護の実施内容	講 義	2
8	介護の基本と実際	講 義	2
9	歯科介護実践の場	講 義	2
10	ライフステージと歯科衛生士のかかわり	講 義	2
11	基礎介護実習①	実 習	2
12	基礎介護実習②	実 習	2
13	基礎介護実習③	実 習	2
14	基礎介護実習④	実 習	2
15	基礎介護実習⑤	実 習	2